

第五十九回帝國議會
衆議院

競馬法中改正法律案外一件委員會會議錄(速)第六回

付託議案(審査終了ノモノヲ除ク)
競馬法中改正法律案(政府提出)

會議

昭和六年三月十八日(水曜日)午前十時
二十八分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 中馬 興丸君

理事 春島東四郎君

理事 山内 亮君

理事 高橋 守平君

理事 高橋熊次郎君

理事 藤井 達也君

藤田 若水君

佐藤謙之輔君

西村金三郎君

本田 義成君

大石 倫治君

出席國務大臣左ノ如シ

陸軍大臣 宇垣 一成君

農林大臣 町田 忠治君

出席政府委員左ノ如シ

陸軍參與官 吉川吉郎兵衛君

農林參與官 山田 道兄君

農林省畜産局長 戸田 保忠君

農林書記官 田淵 敬治君

委員長ノ許可ヲ得テ出席シタル者左ノ如シ

陸軍騎兵大佐 高波 祐治君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

競馬法中改正法律案(政府提出)

○中馬委員長 只今カラ開會ヲ致シマス、引續キマシテ質問ヲ許シマス

○藤井委員 昭和四年度ノ馬事振興ニ關スル經費ハドレダケニナツテ居リマス

○戸田政府委員 昭和四年度ノ豫算額ハ馬ニ關係ノアル經費デアリマス

○藤井委員 三百六十萬圓ノ中ニハ競馬法改正ニ依ッテ得ル收入ヲ見積ッテ居

○藤井委員 競馬法改正ニ依ル金額ノ見積リト云フ御趣旨ハ、ソレニ依ッテ得タ新規豫算デアリマス

○藤井委員 サウデス

○戸田政府委員 其當時ノ競馬法ノ改正ニ依ル新規豫算ハ百四十二萬六千圓

○藤井委員 其金ハ含マレテ居ルノデアリマス

○藤井委員 其金ハ含マレテ居ルノデアリマス

○戸田政府委員 含マレテ居ルノデアリマス、百四十二萬六千圓、四年度ノ

馬ノ關係ノ經費、其總額ハ三百六十萬七千圓デアリマシテ、今御尋ノハ百四

十二萬六千圓、是ハ廣ク馬ニ關係ノアル經費ト云フ意味デ申上ゲテ居ル、馬ノミノ經費トナリマス又多少違ヒマス

○藤井委員 サウスルト昭和五年度ノ實行豫算デハドウ云フヤウナ變化ヲ來シマシタカ

○戸田政府委員 實行豫算ニ付キマシテハ馬ニ關係アル經費ノ總額デノ調査ハ一寸持ッテ居リマセヌ……

○藤井委員 サウスルト昭和四年度ノ一般會計カラ出マシタ馬事振興一切ニ關スル經費、竝ニ昭和四年度ニ於キマシテ、五十六議會ニ於ケル競馬法改正ニ依ッテ得マシタ方ノ政府收入金

○藤井委員 爲ニ使用シタル金額、然ルニ御承知ノ通り内閣ガ送ッテ實行豫算ヲ使用セネバナラスコトニナリマシタカラ、其變化ニ依ッテ、其關係ガドウ變化シタカ、ソレカラ此度追加豫算ヲ提出シナイ迄ノ政府ガ

昭和六年度ニ於テ一般會計カラドレダケノ收入ヲ得、競馬法カラドレダケノ使用スル計畫デアッタカ、其經費、尙ホ又此度追加豫算ガ出タ結果ト致シマシテ、更ニ馬事振興ノ爲ニ五十萬圓

程殖エマシタカラ、其經費、ソレヲ表ニシテ一ツ戴キタイト思ヒマス、尙ホ昭和七年度以降平年度ニ於テハ、大體ドウ云フ割合デ變化シテ來ルカ、表ニシテ午後マデニ、簡單デ宜シウゴザイ

マスカラ御示ヲ願ヒタイ、是ハ甚ダ重要ナル將來ニ對シマスル問題デアリ、又將來馬事振興ノ爲ニ政府ガ一般會計カラ百萬圓ヲ使フト云フ、是ハ決シテ減ラサスト云フ農林大臣ノ御言明

ガアッタヤウデアリマスルケレドモ、吾ハ飽マデ此點ハ確守シテ、今後馬事振興ノ爲ニ一般會計カラ少クトモ百萬圓以上ノモノハドウシテモ出シテ貰ヒ

タイ、無論政府ノ財政ガ許シマスレバ、尙ホヨリ以上ニ出シテ頂戴シタイト思ヒマスケレドモ、少クトモ其程度ノモノハ確守セネバナラスコト考ヘマス

ラ、其點ヲ明カニシテ置クガ爲ニ、簡單デ宜シウゴザイマスカラ、ソレニ付テ御示ヲ願ヒタイ

○戸田政府委員 承知致シマシタ

○藤井委員 國家ノ馬政方針ヲ遂行スル必要上、本會議デ私ガ御尋致シタルデアリマシタガ、例ヘバ國有種牡馬ノ充實費ニ三百二十五萬圓、民有種牡馬ノ充實費ニ百六十萬圓、官制ニ依ル馬

政調査委員會ノ設置ニ三萬圓、地方競馬獎勵費ニ二百萬圓、馬事獎勵其他畜産組合獎勵費二百萬圓、馬産試験場ノ設置ニ五十萬圓、馬匹行政機關ノ充實費ニ五十萬圓、馬匹利用獎勵費二百五十萬圓、馬匹育成獎勵費ニ五十萬圓、馬匹登錄助成費ニ五十萬圓、馬匹繁殖能率増進施設費ニ八十萬圓、衛生改善施設費ニ五十萬圓、馬匹飼料作物優良原種ノ普及獎勵費ニ二百五十萬圓、合計一千三百四十三萬圓程ヲ必要トスルト云フヤウニ承ッテ居リマスルガ、依然トシテ馬政政策ヲ遂行スルニハ此程度ノモノガ必要デアルト御考ヘニナッテ居リマセウカ

○戸田政府委員 今御尋ノ數字ハ能ク分リマセヌガ、畜産局等ニ於テサウ云フ數字ヲキメタ事ハゴザイマセヌ

○藤井委員 スルト大體ニ於テ金額ノ方ハ御要求シマセヌケレドモ、此種ノ事ヲ完成シテ國家ノ馬政方針ヲ遂行スルニハ、大體ニ於テドレ程ノ金額ヲ必要トサレテ居リマセウカ、其點御分リニナッテ居リマセヌカ

○戸田政府委員 馬政計畫ニ基イテ改善ヲ致シマストカ、或ハ實施ヲシタイト云フ事項、及ビ廣ク馬政ニ關シマシテ、財政ノ許ス場合ニ於テ施設シタイト云フ希望ハ常ニ持ッテ居ル次第デアリマスガ、御承知ノヤウニ民間ノ希望

及ビ當事者ハ相當ノ希望ハ常ニ持ッテ居リマスケレドモ、是ハ議會等ニ案ヲ作リマシテ、協賛ヲ經ルヤウニナルマデニハ幾多ノ曲折ヲ要スルモノデアリマス、又各個人々々ガ考ヘルコト、政府トシテ考ヘルコトハ必ズシモ一致シナイノハ御承知ノ通りデアリマス、ソレデアリマスカラ馬ニ關シテ將來ドレダケノ金ヲ政府トシテ要求スベキカ、或ハ必要ト感ズルカト云フヤウナコトヲ今責任ヲ持ッテ御答ハ致シ惡イノデアリマス

○藤井委員 又細カクナリマスルガ、種馬所ノ修繕、種馬牧場ナドノ修繕ガ田中内閣當時ニ於テハ九萬三千八百五十圓ヲ計上シテ居リマシタモノヲ、此

○戸田政府委員 種馬所ノ臨時ノ修繕費ハ年々其當時ノ財政ノ狀況ニ依リマシテ定メテ行クコトニナッテ居リマス、ソコデ一般ノ財源ガ乏シキヤウナ關係カラ、年々依リマシテハ種馬所ノ立木等ヲ伐採致シマシテ、其財源ニ充テタコトモアリマス、財源ガナイ場合ニハ已ムヲ得ズ經費ヲ非常ニ縮小シタコトモ

アリマス、其年々ノ財政ノ都合ニ依ッテ居リマスノデ、是ハ應急ノ施設トハ考ヘテ居リマセヌ、從來多年ノ間其年ノ財政一般ノ都合ニ依リマシテ大藏省デ査定シマシテ、ソレニ依ッテ豫算ヲ要求シテ置イタヤウナ次第デアリマス、其年ノ財政ノ狀況ニ依ッテ決スルノデアリマス

○藤井委員 ケレドモ昭和四年度ニ於テスラ九萬三千圓バカリノ豫算ヲ修繕ノ爲ニ要求セネバナラス金ヲ、二年モ三年モ放ッテ置イテ、僅ニ一萬二千圓程度デヤッテ置イテチットモ差障ハナイモノデアリマス

○戸田政府委員 永久ニ少シモ金ガ取レヌト云フコトデアレバ非常ニ差障ヲ致シマスガ、只今申上ゲマシタ通り臨時其年ノ狀況ニ依ッテ決スルノデアリマスルカラ、或ハ七八萬圓掛ル事モアリ、十萬圓内外掛ル年モアリマス、又

其時ノ狀況ニ依ッテ五萬圓程度シカ掛ラス時モアリマス、一般ノ財政ノ都合ニ依ッテ臨時二年々決シテ行ク費用デアリマスルカラ、例ヘバ種馬所、種馬牧場ノ全體ヲ維持スル費用ト云フヤウナモノトハ全然性質ガ違ッテ居ルノデアリマス、是ハ數年前カラサウ云フ狀況ニナッテ居リマス、年々決シテ行ク費用デアリマスルカラ、其年ノ狀況ニ依ッテ已ムヲ得マセヌ、例ヘバ是ハ抽象的

ノ御話デアリマスルガ、今年假ニ一萬圓モナイ場合ニ、來年或ハ五萬圓要求スル場合モアリマセウ、十萬圓要求スル場合モアリマセウ、ソレガ數年間少シモ修繕ヲシナイデハヤッテ行ケナイノデアリマスガ、其年ノ狀況ニ依ッテ或年ニ少クナルト云フコトハ、全體ノ上カラ已ムヲ得ヌ場合ハアリ得ルノデアリマス

○藤井委員 イヤ、無理ニ追窮ハシマセヌガ、ドウモ九萬三千圓モアッタモノヲ、ソレヲ一萬二千圓ニ削ッテシマッテ、ソレガ餘リ金額ガ少イモノデスカラ、是ハ財政上無イ袖ハ振レナイカラ致方ガナイト思ヒマスルケレドモ、九萬三千圓ヲ計上シナケレバナラナカッタモノヲ一萬二千圓程度デヤッテ居ルコトニナリマスルト、殆ド襤褸隠シヤッテ居ルヤウナコトデアルカラ、吾々ハ馬事振興上種馬所、種馬牧場等ノ修繕ヲシナイコトニナッテハ宜シクナイト思フカラ、心配ノ餘リニ御尋スルノデアリマス、唯政府當局ガ色々遺線ヲ心配ナイヤウニスルト云フコトデアリマスレバ致方アリマセヌケレドモ、實ハ吾々ハ餘リ金額ガ減ッテ居リマスノデ、非常ニ此點ヲ心配スルヤウナ次第デアリマス

○戸田政府委員 其點ニ付キマシテハ當局トシテモ心配シテ居リマシテ、其

時ノ豫算ノ許ス範圍ヲ要求ハ致シテ居ルノデアリマスルガ、其爲ニ將來雨漏ガ生ズルトカ、或ハ種馬ノ健康ニ害ヲ生ズルトカ云フコトノナイヤウニ努メテ、必要ニ應ジテ要求ヲ致ス積リデアリマス

○藤井委員 ソレカラ田中内閣當時ニ於キマシテ九萬千八百七十五圓ノ畜産試驗場ノ新營ヲ計畫シテ居リマシタガ、此金額ガ現内閣ニナリマシテ僅ニ九千四百五十圓ニ減ッテ居リマス、差引キマスト八萬二千四百二十五圓少クナッテ居リマスルガ、新營ガ出來タトスレバ九千四百五十圓デハ餘リニ金額ガ少イシ、ドウ云フ費用ニ此金ヲ使用シタノデアリマスルカ、尙又將來ニ於キマシテ畜産試驗場新營ガ必要デアルノデアリマスルカ、ソレトモモウ必要ガナイノデハ八萬二千四百二十五圓モ打切ッテシマッテ、モウコンナ事ハ必要ガナイト政府ハ御考ヘニナッテオヤリニナッタノデアリマスルカ、ソレトモ又農林省ノ方ガ財政緊縮ノ結果已ムヲ得ズ之ヲヤッテオイデニナルノデアリマスルカ、此點ヲハッキリ御願シテ置キタイノデアリマス

○戸田政府委員 御尋ノ畜産試驗場ニ關スル經費ハ、馬ニ關係アル經費トハ別ノ問題ノ御尋ト思ヒマス、是ハ馬ニハ關係ガナイノデアリマスルカラ……

サウ思ヒマスガ、御尋ノ點ハドノ經費デアリマスルカ、今ハッキリ致シマセヌガ、記憶ニ存シテ居リマス所デハ、四年度ノ豫算ノ中カラ畜産試驗場デ牛乳ノ利用ニ關シタモノヲ要求シタノガアッタヤウニ——是ハ或ハ記憶間違デアルカモ知レヌト思ッテ居リマスガ——ソレガ年度ノ途中カラノ經費デアリマシタノデ、先達テ馬ニ關スル經費ノ際ニモ一寸同ジヤウナモノニ付テ申上ゲタヤウニ、一般ノ整理節約ノ際ニ、手ヲ著ケテナカッタモノヲ節約シタモノガゴザイマスノデ、其經費ノ一部ハ新規ノ事業ノ中デ未著手ノモノヲ一時中止シタモノガゴザイマスカラ、其モノデアラウカト存ジマスガ、明確ナ事ハ其費用ニ付テ具體的ニ當ッテ見マセヌト申上兼ネマスガ、今記憶ニ存シテ居ル所ヲ一應申上ゲマス

○藤井委員 是ハドナタカ政府委員デモ構ハナイガ——サウ記憶ガナイト云フヤウナ問題デハナイト思フノデアリマス、ソレハ何故カト云フト、田中内閣當時ニ於キマシテ、畜産試驗場新營トシテ九萬一千八百七十五圓、獸疫検査所新營トシテ、八萬五千五百圓、種馬所及ビ種馬牧場新營トシテ三十萬六千九百圓ヲ要求シテ居リマスルカラ、甚ダドウモ局長ヲ詰ッテハイケマセヌケレドモ、政府ノ重大ナ農村振興ノ爲ニ、或ハ馬

産振興ノ爲ト申シマセウカ、或ハ又其他ノ畜産獎勵デモ宜シイ、兎ニ角畜産試驗場トカ、獸疫調査所トカ、種馬所及ビ種馬牧場新營ト云フヤウナ、何レモ新シク作ルト云フ重大ナ案件、而モ其豫算ハ畜産試驗場デハ九萬餘圓、獸疫調査所デハ八萬五千幾圓、種馬所及ビ種馬牧場新營三十萬六千九百圓ト云フヤウナ、金額トシテハ相當大キナ金額ノコトヲ分ラスト云フコトデハ困リマスカラ、ドウゾドナタカラデモ宜シイカラ御説明願ヒタイ

○田淵政府委員 今書類ヲ取寄セマシテ明確ナコトヲ申上ゲマスガ、昭和四年度畜産試驗場ノ主ナモノハ、今畜産局長ガ申シマシタ牛乳ノ乳製品關係ノ經費デス、ソレガ今局長ノ話ノヤウニ年度途中カラノ經費デシタカラ、之ヲ四年ノ實行豫算ノ時ニ實行シタモノガ相當アリマス、其外畜産試驗場デ水道ヲ敷ク設備トカ其他ノ設備ヲ、其年度ハ財政ノ都合上相當事業ヲ計畫シマシタカラ、サウ云フモノモ這入ッテ居リマス、其内譯ノ金額ハ後デ書類ヲ取寄セテ申シマス、ソレカラ本年度九千四百圓ニナッテ居ルノハ、是ハ新營ト云フノハ御承知ノ通りニ特殊ノ新シイ仕事ガ始メラレル場合ニハ、ソレニ伴ッテ多クノ經費ガ必要ニナル譯デ、其新シイ特殊ノ事業ノナイ場合ニハ其場ノ維持上必要ナ各種ノ細カイモノヲヤルヤウナ事情ニ、是マデ何レノ事業ニ於テモサウナッテ居ル、ソコデ畜産試驗場ノ新營ハ九千圓ニナッテ居リマスガ、各自明細ヲ御覽ニナッテ御分リデゴザイマセウガ、外ノ所ニ於テモ新營ト云フモノハ少シジ、上ッテ來ルノデアリマス、是ハ大體特殊ノ事業ガナクテモ、農林省全體ノ新營小修繕トシテ約十二三萬圓ノモノガ大體經常費ノヤウニ年々上ッテ居ル、ソレヲ緩急ニ應ジテ各場所ニ振分ケテ居ルヤウナ事情デアリマシテ、今年九萬何ボノモノガ急ニ減ッタト云フノハ、新規事業ガナカッタト云フ風ナ事情ノ爲ニサウナッテ居ルノデアリマス

○藤井委員 新營デナクテ九萬圓モ使ッテハ飛ンデモナイ事デスカラ、新營ト云フモノハ新シク造ルコトデアリマセウト思ヒマスガ、サウスルト其處ニ試驗場ガ出來ナイトスレバ、田中内閣當時豫定シマシタ通り出來ルナラバ、新營ニ關スル經費モ出マセウ、或ハ新營ガ豫定シタモノガ一箇所シカ出來ナイト云フコトデアラナラバ經費ハ掛ルト思ヒマスガ、何モ出來ナイ所ニ金ガ掛ルト云フノハ變ナヤウニ思ヒマスガ、是ハ役所關係デハドウ云フコトニナリマスルカ

○戸田政府委員 ソレハ例ヘバ六年度

豫算ノ各目明細書ヲ御覽ニナレバ畜產試驗場新營ト云フ目ガゴザイマス、例ヘバ支所ヲ三箇所造ル、或ハ厩肥ノ堆積場ヲ一箇所造ル、動物ノ運動ノ柵ヲ造ル、サウ云フノハヤハリ新營トシテ各目明細ニ上ツテ來ルノデアリマス、特別ニ或ル事業ヲ計畫シマセヌデモ、修繕費デナク、或ル費目々々ノモノハ新營トシテ上ツテ來ル豫算ノ「テクニク」ニナツテ居リマス、ソコデ畜產試驗場新營本年度分九千四百五十圓ト云フノガアリマスガ、其内譯ヲ御覽ヲ願フト今ノヤウナ工合ニナツテ行ク譯デアリマス

○藤井委員 此點ハ田中内閣ガ獸疫調査所ノ新營ハ八萬五千五百圓計上シタモノガ、今ニナリマシテ七千五百五十圓、殆ド七萬八千三百五十圓減ツテシマツテ、是亦新營ト云ウテモ何モ出來テ居ラナイコト、考ヘルノデアリマス、若シモ何モ造ラナイモノトシマスナラバ、何カ特別ナ調査デアルトカ何トカ云フコトニ金ヲ使ツタト云フナラバ致方ナイ、是モ將來ニ於テ新ニ是等ノモノヲ造ル爲ノ準備トシテ使用シタ金デアラナラバ致方ナイケレドモ、造ル者モナク、何カ分ラズ其金ヲ、例ヘバ獸疫調査所ノ新營ト云フ名目ノ下ニ七千五百五十圓、畜產試驗場新營ト云フコトニ九千四百五十圓ト云フヤウナモノガ

計上サレテ居ル所ヲ見マス、御指摘ノ點ハハッキリ分リマセヌケレドモ、何カ其準備ノ爲ニ役人ヲ澤山ニ置イテ給料デモ拂ツテ居ルヤウナコトニナルノデアリマセウカ、ソレトモ特別ナル設備方法デモ講ズルノデアリマセウカ

○戸田政府委員 此點ハヤハリ各目明細ヲ御覽戴クト分リマスガ、獸疫調査所ノ御質問ノ點ヲ御説明申上ゲマスガ、獸疫調査所ノ支所ヲ七尾ニ造リマシタ、其計畫ノ經費ガ御話ノ數字ノ大部分デアリマス、ソレデソレハ實行致シマシタ、唯整理節約ノ關係係初メノ四年度ノ豫算ヨリハ經費ヲ稍、縮小致シマシタケレドモ、節約致シマシタ上デ兎モ角實行ハ致シマシタ、サウシテ今年七年七百五十圓ノ中ニハ其七尾ノ風雪林五十坪ト云フモノモ含ンデ居ル次第デアリマシテ、御話ノヤウニ單純ナル人ヲ置クト云フ經費デナク、「コンクリート」四十間、風雪林五十坪、生垣百五十間ト云フヤウナモノカラ成立ツテ七千五百五十圓ニナツテ居ル次第デアリマス

憾ナガラ中途ニシテ所期ノ目的ヲ達スルコトガ出來ナイノデ、七千五百五十圓ト云フ少額ヲ以テ新設ニナツタと思フノデアリマスガ、若シハ縮小シナカッタナラバ、ドノ位ノ金額ヲ以テ其當時此地方ニ新營ヲナサル計畫デアッタノデアリマセウカ

○戸田政府委員 只今ノ申上ゲヤウガ惡カッタカモ知レマセヌ、七千五百五十圓ノ獸疫調査所ヲ實行シタ意味デハナイノデス、初メノ御話ノアッタ金額ヨリモ稍、節約シテ既ニ實行シタノデアリマス、其實行ノ結果ガマダ殘ツテ居ル所ガアリマスノデ、今年ノ七千五百五十圓ハソレヲ含ンデ居ルト云フ意味ヲ申上ゲタ次第デアリマス

○戸田政府委員 萬四千圓計上サレテ居ルト思ツテ居リマスガ、其通りデゴザイマセウカ

○戸田政府委員 甚ダ恐縮デスガ、モウ一度……

○藤井委員 種馬所及ビ種馬牧場新營ニ關シマシテ、田中内閣當時ニ於テ三十萬六千九百圓豫算ニ計上シテ居ッタノデアリマス、ソレハ大體ドウ云フヤウナモノニナツテ居リマスガ、最初ニソレヲ伺ツテ置キマス

○戸田政府委員 此點ニ付テハ御尋ノ趣旨ヲ推測シテ申上ゲマスガ、四年度ノ種馬所ノ新營費ガ多クアリマシタノハ、種馬所ノ新設ガ一ツ見込ンデアッタカラデアリマス、三年計畫デ見込ンデ居ッタノデアリマシテ、年々金額ハ多少縮小致シマシタガ、經費ハ見込ンデ居ツテ實行致シマシテ、根室ニ種馬所ヲ設置致シマシタ、ヤハリ經費節約ノ關係カラ、初メヨリハ規模ヲ縮小致シマシタケレドモ、其豫算ノ趣旨ハ實現致シテ居ル次第デアリマス

○藤井委員 サウスルト種馬所及ビ種馬牧場新營ニ關シマシテ、洵ニ是ハ吾ガ遺憾ニ考ヘテ居ルノデアリマスガ、田中内閣デハ三十萬六千九百圓ヲ豫算ニ計上シテ居リマシタモノガ、本年度ニ於キマシテハ追加豫算ニ於テ八萬五千四百圓、本豫算ニ於キマシテ六萬四千圓ハ、是ハ詰リ一般的ノ種馬

所及ビ種馬牧場全體ニ對スル、例ヘバ追場ヲ造リマストカ、常置舎ヲ作ルトカ、馬房トカ、運動場ヲ造ルト云フヤウナ費用デアリマス、ソレカラ追加豫算ノ方ノ新營ノ費用ハ、昨日モ御説明致シマシタヤウニ、種牡馬二百五十頭ヲ充實スルニ付キマシテ、馬房ノ足ラヌ所ヲ新營シテ行クト云フ計畫デアリマス

○藤井委員 ソレデハ特別ニ何カ種馬所ヲ新設スルト云フヤウナモノデヤナイノデスネ

○戸田政府委員 サウデゴザイマス

○藤井委員 種馬所及ビ種馬牧場ノ豫算ガ、本豫算ニ於キマシテ百五十一萬七千三百六圓ニナツテ居ルノデアリマス、田中内閣ニ比較スルト、二十七萬九千九百十四圓ト云フモノガ減ッテ居ルノデアリマスルガ、此内容ガ分リマセヌガ、物價ノ低落其他ノ關係デ此金額ガ減少シタノデアリマセウカ、ソレトモ又緊縮上已ムヲ得ズ是ガ減少ニナツタノデアリマセウカ

○戸田政府委員 四年度ノ種馬所、種馬牧場費ガ、特ニ多クアリマシタノハ此度設置致シマシタ根室ノ種馬所、詰リ北海道ニ於ケル一種馬所ノ新設費用ガアリマシタ爲ニ、例年ニ比シテ特ニ多クッタノデアリマス、種馬所ハ當初ノ計畫ヨリハ縮小致シマシタガ實行致シ

テ居ッテ、此當初ノ計畫ヲ縮小致シマシタ爲ニ、馬ノ購買費等ニ付テノ節約ヲシマシタ點ガ、相當ノ數字ニナツテ現レテ居ル譯デアリマス、ソレカラソレハ別トシマシテ、一般的ニモ他ノ經費ト同様ニ相當ノ節約ヲ物價ノ低落等ニ關聯致シマシテ、是ハ馬ニ關スル經費ダケニ限ラズ、昨日大臣カラモ御話ガアリマシタヤウニ、一般的ニ整理節約ヲ致シマシタ經費ト合セテ今ノヤウナ數字ニナルノデアリマス、併ナガラ一般ノ整理節約ノ關係カラハ、種馬所、種馬牧場ニ於キマシテハ、馬房ノ關係デ定數ヲ備ヘテ置ク關係カラ、節約ノ相當困難ナ點ガゴザイマスノデ、割合カラ申シマスト他ノモノヨリハ割合ハ少ク節約致シテ居ル次第デゴザイマス

○藤井委員 サウシマスト御説明ニ依リマスレバ、北海道ノ種馬牧場ヲ新設スルヤウナ關係ノ爲ニ、豫期シテ居ッテ是等ノ計畫ガ小サクナツタカラ、自然經常費モ只今申シタ金額ニ減リ、且又緊縮豫算ノ爲メ之ヲ減ラサレタト理解シテ宜シウゴザイマスカ

○戸田政府委員 其通りデアリマス

○藤井委員 更ニ農村振興馬產振興ニ關シテ遺憾ト考ヘマスノハ、田中内閣ガ四十三萬五千圓昭和四年度ニ計上シテ居リマシタガ、現内閣ノ經常部ニ於テ、動物購買費ガ二十一萬三百圓ニナツ

テ居ッテ、其差額ガ約二十一萬四千七百圓、サウスルト殆下半分ニ購買費ガ減ッテ居ル、他ノモノノ減ルコトナラバ私ハ彼此レ申シマセヌケレドモ、他ノモノヲ省イテモ動物購買費ト云フヤウナモノニ付キマシテハ、馬產振興カラ考ヘテモ、或ハ又農村振興カラ考ヘテモ斯ウ云フモノハ政府トシテ努メテ金額ヲ餘計ニシテ、出來ルダケ多額ノ金ヲ御使ニナルコトガ當然ト思ヒマス、然ルニ殆下半分ニ減ラスト云フコトハドウ云フ趣意デ斯ウ云フヤウナ差額ガ出タノデアリマスカ、其内容ヲ御聽シタ

○戸田政府委員 ソレハ先程申上ゲタヤウニ、其當時種馬所一箇所ヲ増設スル爲ニ、體力百三十頭ノ馬ヲ直グ買ハナケレバナラヌ關係カラ、馬匹ノ購買費ガ特ニ多クッタ譯デアリマス、三年經費ガ維持費ダケシカ要ラナイノデスガ、三年計畫ノ新設種馬所ノ爲ニ費用ガ特ニ多クナツテ居リマシタ、ソレヲ縮小致シマシテ三十五頭ノ種馬所ヲ建設致シマシタ關係上、其差額ダケノ購買費ガ自然ニ節約サレタ結果ニナリマス

○藤井委員 サウスルト臨時部ニ於キマシテ田中内閣ガ二十六萬六千六百四十圓馬事振興ノ爲ニ計上シテ居ル、然ルニ是亦現内閣ハ十三萬七千二百二十圓ト云フヤウナコトニナツテ居ル、サウシ

マストヤハリ是モ北海道ノ種馬所竝ニ種馬牧場ガ豫定ノ通りノモノデナク、尙ホ縮小シタカラト云フコトニナルノデアリマセウカ、ソレトモ又特別ナ事情デ斯ウ云フコトニナルノデアリマセウカ

○戸田政府委員 只今御尋ノ經費ハ費目ハ何デスカ

○藤井委員 臨時部ノ馬事振興費ノ課目デ十五萬八千五百三十三圓、内譯馬事獎勵費十三萬七千二百二十圓ト云フノデス

○戸田政府委員 只今ノ御尋ノコトハ豫算ノ課目デハナイヤウニ存ジマス、ガ……

○藤井委員 豫算ニナイモノヲ茲ニ私ガ書イテ來ル譯ハアリマセヌ——馬事振興費トシテ十五萬八千五百三十三圓ヲ計上シテアリマス、田中内閣ニ於キマシテハ二十九萬二千二百圓、差引クト十三萬二千六百六十七圓減少シテ居リマスカラ、物價ガ下ツタトカ、或ハ馬ノ値段ガ下ツタト云フヤウナ程度ノモノデアリマセヌ、簡單ニ之ヲ見ルベキモノデナイト思ヒマスカラ私ハ御尋スル譯デアリマス、馬事振興ニ御熱心ナ現當局ガ斯ウ云フ風ニ馬事振興費ヲ半分以上モ減ズルト云フコトニナレバ、馬產ニ關係アル吾々ハ不滿デアル、此處ヲハッキリトシテ置キタイト思ヒマス

○戸田政府委員 只今ノ馬事振興獎勵費ガ十五萬八千五百三十三圓ニ減ッテ居リマスノハ、節約ノ減モ這入ッテ居リ、獎勵ノ費用其他色々内輪ノヤリ繰モ含ンデ居リマス

○藤井委員 大體本豫算ヲ御計畫ニナル當時ニ於キマシテ、競馬法改正ヲ御出シニナル考デアッタカドウカ、ソレヲ承リタイ

○山田政府委員 昨年一般會計ノ豫算ヲ組ミマス頃ニハ、競馬法改正ノ議ハアリマセヌデシタ

○藤井委員 是ハ中々重大問題ニナルノデアリマス、是ハ參與官ノ御言明デアリマスカラ間違ナイト思ヒマスガ、サウシマスト競馬法改正案ト云フモノハ、全ク救護法ノ財源ヲ得ル爲ニ餘儀ナク農林省ノ諸君モ陸軍當局モ之ニ從ッタモノデアルト考ヘルガ、如何デアリマスカ

○山田政府委員 一應御尤モ千萬ノ御尋デアリマスガ、併シ仰セノ如ク救護法ノ財源ト云フモノガ之ヲ刺戟シタコトハ事實デアリマス、斯様ナ事ヲ關係ナイナント云フシロ切ル必要ハナイト私ハ思フケレドモ、不必要ナ改正ヲ企テタ譯デハナイノデアリマシテ、局ニ於キマシテハ先年來色々改正ノ案モ持ッテ居リマシタシ、吾々少クトモ此

一二年ハ昨年十月カラ來年度ニ於テハ

競馬法ノ相當ナル改正ガ必要ナリト考ヘテ、局長課長ニモ相談シタコトガアッタノデアリマシテ、ソレガ實現シタト云フマデノコトデアリマス、左様御諒解願ヒマス

○藤井委員 私ハ馬事振興、競馬獎勵ニ付テモ、政府當局ハ非常ニ御熱心ナヤウニ言ハレルガ、全ク御熱心デナイト思フ、ト云フノハ此豫算ニ依ッテ明瞭デアアル、田中内閣當時ニ於キマシテハ一萬三千三百七十六圓ノ競馬會設備ノ補助ガアリマシタガ、六年度ノ要求額ニ於テハ全然ナクナッテ居ル、更ニ又地方

競馬ノ指導獎勵費ト云フモノガ、六年度ニ於テ一萬三千四百五十一圓計上シテアリマスガ、田中内閣當時ニ於テハ二萬五千三百五十四圓ヲ計上シテ居ル、而モ其中ニハ内譯トシテ地方競馬指導獎勵金一萬圓ヲ計上シテ居リマシタガ、本年ハ全然是ガ控除サレテ居ルノハドウ云フ譯デアリマスカ

○戸田政府委員 只今御話ニナリマシタ中ノ初メノ部分ノ競馬會設備補助デアリマスガ、是ハ陸軍省デ馬政ヲヤッテ居タ當時ノ馬券禁止時代ニ競馬ノ獎勵ノ爲ニ設備ノ補助ヲシテ、今日ノ公認競馬ノ獎勵ヲシタノデアリマス、ソレハ豫算外義務負擔ノ契約トナッテ殘ッテ居ッタ最後ノモノデアッタノデアリマス、ソレガ一方ニ於テ馬券ガ賣レルヤ

ウニナリマシタ爲ニ、大正十二年以後ニ於キマシテ相當大キイ競馬俱樂部デハ屢ニ辭退ヲ致シマシテ、其辭退シタ金ハ整理節約等ノ場合ニ屢ニ地方牧場等ノ經費ニ援助シタコトガ實際問題トシテアルノデアリマス、併シ小サイ俱樂部デハ其處等デサセルコトガ無理ノヤウナ關係モアリ、最後ノモノトシテ一萬圓殘ッテ居ッタノデアリマスガ、ソレハ義務負擔ノ契約期限モ切レテ居リマスシ、其後ノ狀況デハ一方馬券ガ賣レルヤウニナッテ居リマス關係上補助ヲスル必要ハナイノデアリマス

ソレカラ一萬圓ノ地方競馬ノ獎勵金ヲ使ハナクナッタト云フ點ハ、一方整理節約ノ關係、又地方競馬ガ今日相當賣上ノアル關係等カラ、其分ダケハ割愛シタ次第デアリマス、一方ニ於テ馬産地等ニ於ケル地方競馬ニ付キマシテハ、既定ノ經費ノ中カラ賞金ノ交付ヲ只今デモ或ル一部ニ對シテハ行ッテ居リマス

○藤井委員 色々御話ヲ承リマシタガ、要スルニ馬産地ト致シマシテハ成ベク政府ガ澤山ナ金ヲ出シテ獎勵シテ下サレバ、ソレダケ馬事振興ニナルノデアリマスガ、政府ノ緊縮等ニ依ッテ是ガ出來ナイト云フコトデアリマスレバ甚ダ遺憾ナコトデアリマス、ドウゾ將來ニ於キマシテハ只今ノ御言明ノヤウ

ニ願ヒタイ

最後ニ此問題ニ關聯シテ御尋致シテ置キタイコトハ、馬匹改良増殖獎勵費ニ於キマシテ十五萬四千五百六圓ヲ計上シテ居ッタノデアリマスガ、是ガ十二萬圓程度ニナッタノハヤハリ物價ノ下落カラ來タノデアリマセウカ、ソレトモ緊縮ノ程度カラ來タノデアリマセウカ

○戸田政府委員 十五萬四千圓餘ノ馬匹改良増殖獎勵費ガ六年度ノ豫算ニハ十二萬圓餘ニナッテ居ル原因如何ト云フコトデアリマスガ、是ハ一般ノ整理節約ニ依ッタノデアリマス、併シ其減リ方ハ割合ニ他ニ較ベテ少ウゴザイマス

○田淵政府委員 先程藤井サンカラ御質問ガアリマシタガ、今書類ヲ取寄セハ前ニ簡單ニ一寸申上ゲテ置カウト思ヒマス、此畜產試驗場ノ四年度ノ九萬一千八百七十五圓、是ハ先程申上ゲマシタヤウニ、牛乳ノ利用増進ノ事業ガ此年ニ初メテ起リマシテ、ソレニ對スル經費ガ九萬一千八百七十五圓ノ中六萬三千五百圓ハ牛乳ノ利用増進ノ事業ニ伴フ新營費デアアル、其外ニ先程申シマシタ水道ヲ造ル、給水設備ガ八千圓程アリマシタノト、其外ニ製氷冷蔵庫設置、廳舎ノ費用、ソレカラ貯水池ヲ造ル、運動場ノ垣ヲ造ル、土地ヲ多少購入スル必要ガアリマシタノデ、斯ウ

ヲ講ジサセマシテ、從來モヤツテ居ルノ
デアリマスガ、一方政府納付金ニ於キ

マシテハ俱樂部ノ財政ノ狀態ニ依テ
取捨ヲ致シテ居ルノデアリマスカラ、
大體論トシテ只今ノ御心配ノ點ハ改正
ノ法律案ニ依ツテ、從來ヨリモ俱樂部ノ
狀態ヲ特ニ惡クスルト云フコトガナイ

ト云フコトヲ確信ヲシテ居ル次第アリマス

○藤井委員 サウ致シマスト、現在政府ノ認可ニ依ッテ俱樂部ニ殘ッテ居リマ

ス債務ノ大體ノ金額、俱樂部全體ノ金額ハ分ッテ居リマセヌカ

○戸田政府委員 此處デハ分ツテ居リ
マセヌガ、大體ハ分ツテ居リマス

○藤井委員 恐入リマスガ午後ノ委員
會マデ、宜シウゴザイマスカラ簡單ニ
書イテ出シテ戴キタイ——農林大臣ガ
御見エニナリマシタカラ改メテ御尋致
シマスガ、先程私ガ政府委員ニ御尋致

シタ其御答辯ニ依リマス、ト、本豫算ヲ御制定ニナリマスル當時ニ於キマシテハ競馬法改正ト云フ御考ハナカッタト云フコトデアリマスガ、其點ハ農林大臣ニ於テ御承認ニナリマスカ

○**町田國務大臣** 初メテ提案ノ理由ノ
時ニ申上ゲタ通り、大體馬事振興ヲ主
トシテ其種馬ノ補充ニ缺クル所アリ、
又就中衆議院ニ於キマシテ十數年來牧
野法ノ制定ノ要望ガアリマシタノデ、

當局トシテモ數年來此調査ヲシテ居
タノデアリマス、主トシテ馬事振興ノ
爲ニ競馬法ヲ改正シテ財源ヲ併セ得ヤ
ウト云フ考デ調査ヲシテ居リマシタガ、
總豫算編成當時マデニハ間ニ合ハナ
カッタノデアリマス、而シテ私ガ率直ニ
申シマシタ通り、一面社會事業ノ主ナ
ル施設ノ一ツトシテ救護法ノ實施ヲ必
要ト認メタノデアリマスガ、其競馬法
ニ依ッテ新ニ得マシタ財源ノ一部ヲ社
會事業ノ方ニ仕向ケルト云フ考ヲ以テ
追加豫算トシテ御請求致シタ次第デア
リマス

○藤井委員 只今ノ御言明ニ依リマス

ト何等要領ヲ得ナイガ、ソレ迄ニ間ニ
合ハナカッタモノダカラ、一般ノ總豫算
ニハ計上シナカッタノデアアルガ、國民ガ
多年要望シテ居ル牧野法ノ問題モアリ
マスカラ、更ニ救護法ノ實施ヲ考ヘテ
之ヲ出シタノデアアル、斯ウ了解シテ差
支アリマセヌカ、私ハ若シモ牧野法ノ
實施ヲ御考ヘニナッテ居ッタ致シマス
ルナラバ、昨日モ政府委員ニ御尋致シ
タノデアリマスガ、昭和四年田中内閣
當時ニ於キマシテハ牧野改良ノ費用ト
云フモノヲ十四萬圓乃至十五萬圓ト云
フモノヲ政府ニ於テハ之ヲ認メ、五年
度ニ於テ之ヲ實施スルコトヲ言明シテ
居ッタノデアリマスカラ、此牧野法ガ制
定サレナクトモ政府ト致シマスレバ責

任上昭和五年度ニ於テ既ニ牧野法改正
ノ經費トシテ計上シテ居リマシタ筈デ
アル、此度競馬法ノ改正ニ依ッテ得ル所
ノ收入ノ中カラ九萬幾千餘圓ト云フモ
ノヲ見積ルヨリモ、尙ホ以上田中内閣
當時ニ於キマシテ十四萬乃至十五萬ノ
經費ト云フモノヲ計上シテ居ッタノデ
アリマス、之ヲ考ヘルト現内閣ガ牧野
法ニ御熱誠デアリマスナラバ、既ニ昭
和五年度ニ於テ十四萬若クハ十五萬圓
ノ改良費ト云フモノヲ計上シテ居ラネ
バナラヌノデアリマス、如何ナル理由
ニ依ッテ之ヲ計上シナカッタノデアアルカ
之ヲ御言明願ヒタイ

○町田國務大臣 昨日大體ノ御答ヲ致
シタト存ジテ居リマスガ、成程政友會
内閣ノ時ニ競馬法ノ改正ニ依ッテ百四
五十萬ノ新財源ヲ得タ、其新財源ヲ以
テ七八項ノ新タナル經費ヲ見積ラレマ
シタ中ニ、牧野改良ノ爲ニ十數萬圓ヲ
計上サレタノハ御話ノ通りデアリマ
ス、昨日モ申シマシタ通り財政緊縮ノ
必要上、各方面ニ互ッテ經費ノ節約ヲ
致シマシタ時ニ是ガ相當減ジラレテ居
ルノデアリマス、併シ競馬法ニ依ッテ得
マス收入ノ總高ハ百五十萬圓以下ニア
ルニ拘ラズ緊縮豫算ヲ以テ、此馬事振
興ニ關スル總テノ經費ハ昭和六年度ニ
於テモ二百六十萬圓ニ達シテ居ッテ一
般財源カラ持來タタル所ノ金額ハ百

萬圓以上ニ上ッテ居リマシテ、競馬ニ
依ッテ得タ收入ヲ如何ニ馬事振興ノ爲
ニ——手ヲ縮メタ譯デハアリマセヌ
ガ、其範圍内ニ於キマシテ、澤山ノ馬
事ノ振興ニ關スル經費費目モアリマス
カラ、輕重緩急ヲ計ッテ之ヲ按配シタガ
爲ニ、牧野ニ關スル經費モ幾分力減ッ
デアリマセウ、併シ其後ノ形勢ハ寧ロ
牧野ニ關スル經費ト申シマスヨリモ、
牧野法ヲ制定スルコトガ必要ト思ヒマ
シタ爲ニ、此度ハ牧野法ヲ制定シテ、
之ニ伴フ經費ハ前内閣ニ於テ御發
ラレタ以上ノ經費ヲ此方ニ振當テタ、
斯ウ御承知ヲ願ヒマス

○藤井委員 本案提出當時ニ於キマシ
テハ、競馬法ノ改正ヲシテ馬產ノ獎勵
ヲシヨウナド、云フ御考ノナカッタコ
トハ、何ト仰セニナリマシテモ政府諸
君ノ御辯明ニ依リ、又農林大臣ノ御說
明ニ依ッテ明瞭デアルト考ヘル、本案提
出後ニ於キマシテ、救護法ノ財源ヲ得
ル爲ニ引摺ラレテ本法改正ヲ致スニ立
至リ、尙且ツ其結果トシテ或ル部分ヲ
馬事振興ノ爲ニ使用シタモノデアルト
云フコトハ、如何ニ御辯明ニナッテモ吾
吾ハ確信シテ疑ハヌノデアリマス、尙
又牧野改良ト云フコトニ付キマシテ御
誠意ノナカッタト云フコトハ、此一事ニ
依ッテ私ハ明瞭デアルト考ヘルノデア
リマス、田中内閣當時ニ於キマシテ、

昭和四年度ノ豫算ニ於テハ牧野改良獎
勵費ト云フモノヲ六千三百四十二圓計
上シテ居リマス、尙又政府ノ御辯明ニ
依リマシテモ、昭和五年度ニ於キマシ
テ牧野改良費ノ爲ニ、十四萬若クハ十
六萬ノモノヲ計上スルト云フコトヲ計
畫シテ居ッタコトハ、當時ノ委員會ノ速
記録ニ依ッテ、又現ニ戶田政府委員ガ其
當時ノ委員會ニ御出席ニナッテ御辯明
ニナリ、又私ノ御尋ネシタ質問ノ御答
ニ依ッテ明瞭デアルト信ジマス、田中内
閣ハ昭和五年度ニ於テ十五萬、十六萬
ト云フ牧野ノ改良ヲ計畫シタ其一端ト
シテ、昭和四年度ニ於テ六千三百四十
二圓ト云フモノヲ計上シテ居ッタニ拘
ラズ、現内閣ハ本豫算ヲ計上スルニ方ッ
テ牧野改良ニ如何ナル誠意ガアッタカ
ト云フト全然ナイ、六千三百四十二圓
ト云フモノヲ政友會内閣當時ニヤリマ
シタヤウナモノハ全部削ッテシマッテ、
牧野改良獎勵費ニハ一文モ御使ヒニ
ナッテ居ラヌノデアリマス、此點カラ考
ヘマシテモ農林大臣竝ニ現内閣ノ諸君
ハ牧野改良ニ御熱心ノヤウナコトヲ言
ハレマスケレドモ、少シノ豫算モ計上
シナカッタト云フコトヲ考ヘテ見、尙且
此改良費ヲ計上シナカッタバカリデナ
ク、其當時ニ於キマシテハ競馬法ノ改
正モ考ヘテ居ラナカッタ、斯ウ云フコト
ヲ吾々ガ考ヘ合セテ見マス、全然牧

野改良獎勵費ニハ一文モ御使ヒニ
ナッテ居ラヌノデアリマス、此點カラ考
ヘマシテモ農林大臣竝ニ現内閣ノ諸君
ハ牧野改良ニ御熱心ノヤウナコトヲ言
ハレマスケレドモ、少シノ豫算モ計上
シナカッタト云フコトヲ考ヘテ見、尙且
此改良費ヲ計上シナカッタバカリデナ
ク、其當時ニ於キマシテハ競馬法ノ改
正モ考ヘテ居ラナカッタ、斯ウ云フコト
ヲ吾々ガ考ヘ合セテ見マス、全然牧

野改良獎勵費ニハ一文モ御使ヒニ
ナッテ居ラヌノデアリマス、此點カラ考
ヘマシテモ農林大臣竝ニ現内閣ノ諸君
ハ牧野改良ニ御熱心ノヤウナコトヲ言
ハレマスケレドモ、少シノ豫算モ計上
シナカッタト云フコトヲ考ヘテ見、尙且
此改良費ヲ計上シナカッタバカリデナ
ク、其當時ニ於キマシテハ競馬法ノ改
正モ考ヘテ居ラナカッタ、斯ウ云フコト
ヲ吾々ガ考ヘ合セテ見マス、全然牧

野改良獎勵費ニハ一文モ御使ヒニ
ナッテ居ラヌノデアリマス、此點カラ考
ヘマシテモ農林大臣竝ニ現内閣ノ諸君
ハ牧野改良ニ御熱心ノヤウナコトヲ言
ハレマスケレドモ、少シノ豫算モ計上
シナカッタト云フコトヲ考ヘテ見、尙且
此改良費ヲ計上シナカッタバカリデナ
ク、其當時ニ於キマシテハ競馬法ノ改
正モ考ヘテ居ラナカッタ、斯ウ云フコト
ヲ吾々ガ考ヘ合セテ見マス、全然牧

野改良ト云フコトニ付テ誠意ガナカッタ、唯救護法ノ財源ヲ得ル爲ニ已ムヲ得ズ競馬法ノ改正ヲ致シ、他ノ一面ニ於テハ競馬法ヲ改正シテ、世間カラ射倖心ヲ唆ルモノデアルト云フヤウナコトヲ言ハレル所ノ、斯ウ云フ法案ヲ改正シタノデアリマスガ、世間ノ手前上、一方馬事振興ノ爲デアルト云フコトデ以テ、一部ノ金ハ之ニ使用致シ、サウシテ又一部ノ金ハ之ヲ牧野法ニ使用スルモノデアルト私ハ斷定シテ已マス、ソレデモ政府當局ハ一般會計ニ於テ牧野改良獎勵費ニ一文ノ計上モ爲サラナカッタト云フコトヲ以テモ、尙且ツ現内閣ハ牧野改良ニ熱心デアッタト云フコトヲ御言明ガ出來マスカドウカ、農林大臣ノ明快ナル御答辯ヲ願ヒタイト思フノデアリマス

○町田國務大臣 御話ノ通り六年度豫算ニ於キマシテハ牧野改良ノ經費ハ、前内閣ノ計畫ニ於テハ四年度ハ六千何圓、五年度、六年度ニ互ッテ十五萬圓ノ計畫ノ下ニ、四年度ニ於テハ六千何百圓ヲ計上サレタト云フヤウナ事實デアリマス、現内閣ノ豫算編成ハ、私ガ申ス通り、馬事振興ノ爲ニ二百六十萬圓ヲ振向ケテ居ル、其中ニ競馬ニ依ッテ得マシタ收入ハ實際ニ於テハ百四十五萬圓ト思ヒマス、アトノ百萬圓ハ一般會計ノ財源ヲ以テ之ニ充テ、アルト云フ

コトハ御承知ノ通りデアル、ソレカラ只今ノ救護法ノ爲ニ取急イデ競馬法ヲ改正シタト言ハレルガ、競馬法ノ改正ハ從來カラ考ヘテ居ッテ、其財源ハ主トシテ馬事振興ニ用ユルト云フ考ニハ何等變更アリマセヌ、併シ率直ニ私ガ申上ゲタ通り、社會事業ノ主ナル施設ノ一ツタル救護法ノ實施ガ必要デアリマスガ故ニ、其財源ノ一部ヲ歐米各國ガヤッテ居ルガ如ク、競馬ノ收入ノ一部ヲ以テ之ニ振當テルト云フ一般ノ通念ニ基キマシテ、之ヲ救護法ニ一部ヲ用ヒタノデアリマス、昨日モ申上ゲテ居リマスカラ重ネテ申上ゲル必要ハナイヤウデアリマスガ、今度改正ニ依ッテ新タニ競馬カラ得マスル收入ハ約二百萬圓ト見積ッテ居リマス、其二百萬圓ノ中、六十萬圓ハ從來內務省所管ニ屬スル地方財源ト相成ッテ居ルモノヲバ、之ヲ農林省所管ニ移シテ此六十萬圓ヲ得タノデアリマス、故ニ今後ノ立テ方カラ見マスレバ、從來府縣ニ地方稅若クハ地方納付金トシテ參ッテ居リマス六十萬圓ヲ一旦農林所管ニ移シテ、ソレニ加フルニ、競馬法ノ改正ニ依ッテ得タ收入ノ四十萬圓ハ救護法ノ方ニ參ッテ、アトノ六十萬圓ハ馬事振興ノ爲ニ用ユルト云フ立テ方デアリマスカラ、是ガ此提案ヲ促シタコトハ事實デアリマス、併シ此法ノ改正ニ依ッテ新ニ得マシタ

所ノ收入、竝ニ從來得テ居リマス收入ノ全額ノ内、少クトモ三分ノ二以上ハ馬事振興ニ用ヒルト云フ形ニナッテ居リマスガ故ニ、促シタ動機ハ救護法實施ノ財源ノ關係モアリマスガ、只今立テ、居リマス救護法ニ關スル經費ハ約三百萬圓ト致シテ居リマス、其内百萬圓ハ競馬收入ノ増加ニ依ッテ救護法ノ方ニ振當テ、アリマス、併シ其百萬圓ノ中六十萬圓ハ從來地方ニ於テ納付金トシテ地方ニ參ッテ居ッタノヲ一旦農林所管ニ移シマシテ、更ニ之ヲ內務省所管ノ救護法ニ與ヘルノデアリマスカラ、事實ニ於テハ四十萬圓ダケヲ救護法ニ與ヘテ、大部分ヲ馬事振興ノ爲ニ用ヒルト云フコトノ御諒解ハ得ラレヨウト思ヒマス

○藤井委員 了解ガ出來マセヌ、私ハ此度ノ改正ニ依リマシテ政府ガ一般會計デ計畫ナサレタ當時ニ比シテ、本法改正ニ依ッテ昭和六年度ニ得マスル金額ノ中デ馬事振興ニ使用スル金ハ約五十萬圓程度ノモノデアルト考ヘマスルガ、政府當局ノ御考ハ如何ナモノデセウカ

○町田國務大臣 御尋ノ通りデアリマス、例年ハ會計年度全部ヲ通ジマシテハ少クトモ二百萬圓ト積ッテ居リマス、今年ハ秋ノ競馬カラ實施シマシテ、春ノ競馬ニハ此法ガ事實上實行ガ面倒ト

思ヒマスルガ故ニ、豫算ノ立方ハ秋ノ競馬カラ致シテ居リマス、故ニ此收入ハ約百萬圓ト致シマシテ、其中ノ半分五十萬圓ヲ救護法ノ方ニ振向ケタノデアリマス、百萬圓ノ中五十萬圓ヲ救護法ニ振向ケルト言ヘバ、三分ノ二ヲ下ラザルト云フ原則カラ見テハドウダト云フ更ニ御質問ガアルト考ヘマスガ、此秋ノ競馬ダケデ百萬圓ヲ得ルト云フ中ノ二十五萬圓ハ從來內務省系ノ地方ニ參ッテ居ッタノガ二十五萬圓入ッテ來ルノデアリマス、故ニソレニ加ヘテ二十五萬圓ヲ其方ニ振向ケテ、サウシテ馬事振興竝ニ牧野ノ方ニ使フノハ五十萬圓ト致シタノデアリマス、併シ總計致シマス、此百萬圓ノ外ニ從來ノ收入ガ百六十萬圓アリマスカラ、ヤハリ三分ノ二ヲ下ラザルト云フ原則ニハ違ハナイ、斯ウ云フコトニナリマス

尙ホ藤井委員其他ノ御諒解ヲ得テ置キマスガ、實ハ私米穀法ニ出テ居リマシテ貴族院ノ本會議ニ出席致シテ居タノデスガ、午前ノ中ニ其米穀法ニ少シ殘ッテ居ル所ガアルカラ、是非此度來イト云フコトデアリマスカラ、此會ハ本會議ニ續キマスと思ヒマスカラ、午前中ニ暫時貴族院ノ方ヘ參リタイト思ヒマスカラ、御許ヲ願ヒタイト思ヒマス

○川島委員 休憩シナクテモ宜イノデ

スカ

○中馬委員長 向フハ休憩シタサウデ

ス——ソレデハ引續イテ御願ヒシマス

○藤井委員 サウシマス、政府ガ本

豫算ヲ組ミマシタ當時ニ於テハ、一般

會計カラ百萬圓、競馬法ニ依ッテ得マス

ル約百六十萬圓、總額二百六十萬圓ヲ

計上シテ馬事振興ノ爲ニ之ヲ使用シヨ

ウト云フ御考デ農林省ハ御計畫ニナ

リ、其豫算ヲ提出サレタノデアル、然

ルニ本法ノ改正ヲ致シマシテ、更ニ政

府ノ收入ガ百萬圓殖エルノデアルカ

ラ、其五十萬圓ト云フモノヲ馬事振興

ノ爲ニ使用スルノデアル、サウシマス

ト百六十萬圓ト百萬圓ト五十萬圓、總

額三百十萬圓程ヲ馬事振興ニ使用スル

コトニナルノデアリマス、サウ理解

シテ差支ゴザイマセスカ

○町田國務大臣 御尋ノ趣意ハ私或ハ

聽達ヘタカ知レマセヌガ、從事競馬法

ニ依ッテ得テ居ル收入ハ、豫算ノ上ニ於

テハ百六十萬圓ト前内閣以來積ッテア

リマス、實收ハ多少違ヒマセウガ、大

體サウ積ッテアリマス、而シテ平年度

ニ於キマシテハ、此上ニ二百萬圓加ハッ

テ三百六十萬圓ガ競馬法ニ依ッテ得ル

收入デアリマス、本年ハ秋ノ競馬カラ

用キマスカラ百萬圓ヨリ入リマセヌ、

サウ致シマス、競馬ニ依ッテ得マスル

收入ハ本年度ニ於テハ二百六十萬圓デ

アリマス、一面本豫算ニ載ッテアリマス

馬事振興ニ關スル經費ハ二百六十萬圓

デアリマスガ、此追加豫算ヲ加ヘマス

ト、馬事振興ニ關スル總計費ハ御話ノ

通り三百十萬圓トナルノデアリマス

○藤井委員 ソレデハハッキリ致シマシ

タ、サウシマス、アノ當時ノ豫算ヲ

吾々ガ考ヘテ見マス、既定ノ經費ガ

二百十六萬圓、競馬法改正ニ依リマシ

テ、百分ノ四デアッタモノヲ百分ノ六

ニ改正スルト百四十五萬圓増ス、假ニ

之ヲ百四十萬圓ト致シマシテモ、總額

三百五十五萬圓カ六十萬圓ノ金額ニ

ナッテ來ルト吾々ハ考ヘルノデアリマ

ス、然ラバ本法ヲ改正スルコトハ無理

ニ所謂射倖心ヲ誘導、激成スルヤウナ

モノデアル、故ニ斯ウ云フヤウナコト

ハ出來ルダケ控ヘタ方ガ宜シイト思

フ、此案其儘田中内閣當時カラ施行シ

テ居ッタトシテモ、現内閣ガ本法ヲ改

正シテ六年度ニ於テ得マスル金以上ノ

モノヲ出シテ居ッタト云フコトヲ考ヘ

テ見マス、何故ニ——政府ガ既定經

費二百十五萬圓ヲ計上シタモノヲ、

殆ド其半額百萬圓移度ニマデ減ラシタ

理由ガ吾々ニ明瞭セナイノデアリマス

ガ、如何ナル理由ニ依リマシテ二百萬圓

以上計上シテ居ッタモノヲ——物價ガ

下落シタカラ之ヲ二割減ラサウト言フ

最小限度ニ二割ノ經費節約ヲ致シマシ

テモ、既定經費ニ於キマシテ百五六十

萬圓ノ計上ヲセナケレバナラヌモノ

ヲ、百萬圓ニマデ御減ラシニナッタノデア

リマス、其理由ヲ御聽キシタイト思

フノデアリマス

○町田國務大臣 其點ハ昨日モ御答ヘ

シタ通りデアリマシテ、藤井君ノ御尋

ノ通りデアリマス、唯昨日モ申シマシ

タ通り、四年度ノ豫算ノ總額ニ比シマ

スト、本年度ノ豫算ハ約三億モ減ッテ

居リマス、是ハ何故ニ減ッタカト云フ原

因ニ付キマシテハ御議論モアリマス、

此點ハ姑ク措キマシテ、事實トシ

テ三億モ豫算ヲ節約セナケレバナラヌ

ト云フ極メテ財政上困難ナ地位ニ立ッ

タノデアリマス、各省各方面ニ向ッ

テ節約ヲ加ヘ、其結果馬事振興ノ方ニ

モ三百六十萬圓カ四年度ニアリマシタ

ノガ此度ノ豫算デ二百六十萬圓ニ相

成ッタノデアリマス、其點ナドハ即チ此

競馬法ヲ改正シテ馬事振興ノ財源ヲ得

ヨウト努メタ主ナル原因デアリマシテ、

同時ニソレガ救護法實施ノ必要ヲ感ジ

マシタ、ソレガ動機トナッテ追加豫算トナッ

テ現ハレタノデアリマス、其他ノ事ハ

御議論ト承ッタノデ、私カラソレ以上御

答ヘスルノハ、昨日モ申上ゲテ居ルノ

デアリマス、昨日モ申上ゲテ居ルノ

マス、大體ノ事情竝ニ動機及ビ馬事振

興ノ爲ニ必要ナルコトガ主ナル原因ト

ナッテ此法律ガ現ハレテ、而シテ此法律

ニ於テハ、將來少クトモ三分ノ三以上

ハ馬事振興ノ爲ニ用ヒルト云フ、立法

例ニハ珍シイ特別ノ規定ヲ設ケテ、主

トシテ是ハ馬事振興ノ爲ニ用ヒルト云

フコトヲ法律ニ明カニシタ次第デアリ

マス

○藤井委員 私ハ農林大臣ノ御辯明ニ

ハ満足出來マセヌ、此内閣ガ十七億七

千萬圓ノ經費ヲ計上シテ居ッタノヲ、三

億萬圓モ節約シタノデアルカラ、其爲

ニ斯ウナッタノデアリマス、十七億七千

萬圓ノ經費ガ半額ニ減ッタト云フコト

デアリマスナラバ、是ハ農林大臣ノ仰

セノ通り萬已ムヲ得ナイ事情デアラウ、

其事情ノ原因ガ何ニアルカト云フコト

ハ論ズル必要ハナイ、農林大臣トシテ

馬事振興ニハ熱心デアッタケレドモ、萬

已ムヲ得ズ、此現内閣ノ緊縮節約ノ結

果トシテ、農林省モ之ヲ默認シタモノ

デアルトハ諒解出來ルト思ヒマス、本

ドモ、競馬法ノ改正ト云フコトハ、本

豫算御提出ノ當時ニハ大體ニ於テ現參

與官其他ノ政府委員ノ方々ノ御意向ヲ

聽イテモ、其通りデアリマシタ、農林

大臣ハ何カヤラウト——現參與官其他

ノ政府委員ノ方々ノ御意向ヲ聽イテモ

其通りデアリマシタ、農林大臣ハ何カ

ヤラウト云フ頭ハアッタラシイガ、御話通り馬事振興ノ爲ニハ此經費ヲ現内閣ノ大體ノ前後ヲ綜合シテ見ルト、サウ云フ御考ハ全然ナカッタ、若シサウデアレバ、此競馬法ヲ改正シナケレバ、殆ド本豫算ニ於テ一般會計カラ來マス金ト云フモノハ田中内閣當時ニ較ベマシテ、其半以下デアル、田中内閣當時ハ約二百十六萬圓計上シテ居ッタノデアリマスカラ、其半以下ニナッタト云フコトニナルト、物價ガ下落シタ、或ハ三億圓豫算ガ少クナッタノデアルカラ、致方ガナイト云フヤウナコトデハ通りマセス、若シモ馬事振興ト云フコトガ國家ノ産業上國防上ニ重要ナモノデアルト云フコトノ御諒解ガアリマシタナラバ、今年三億ノ節減ト云フコトニ伴ヒマシテ、二割デアルトカ或ハ二割五分ト云フヤウナ程度迄ハ致方ガナイト考ヘマスケレドモ、殆ド其半分以上マデ減シマスと云フコトニナッテ見マス、馬事振興ニハ御熱心デナカッタモノデアルト吾々ハ考ヘルコトガ常識カラ見テ當然デアルト思ヒマスガ、農林大臣ハ此點ヲ如何ニ御考ヘニナリマスカ

○町田國務大臣 幾度重ネマシテモ御満足ヲ得兼ネルト思ヒマス、各省ノ豫算ヲ御覽下サルト從來ノ施設ニ對シマシテ半分以上ニ著シク減ッタ經費モ各省ニ互ッテ私ハアルト思ヒマス、御話ノ論馬事振興ノ爲ニ使ハズ、救護法ニ使ッ

タノデハ、農村ノ馬事關係ノ方デハ迷惑千萬デアリマスカラ、吾々ハ其點ニ付テハ彼此レ申シマセスケレドモ、要ハ如何ナル御辯明ガアッテモ意見ノ相違デアルトカ何トカ仰セニナリマセウケレドモ、馬事振興ノ爲ニ御熱心デアリマスナラバ、其當時ニ於テ私ハ何ト云ッテモ他ノモノハ節減シテモ産業上軍事上必要デアリマスカラ、此點ダケハ減ラスコトガ出來ナイト、斯ウ云フコトヲオヤリニナッテコソ、馬産地方ノ農民ニ對スル忠實ナルヤリ方デアルト私ハ考ヘマス、若シモ競馬法ノ改正ト云フコトヲ出サナカッタトシマスナラバ、殆ド農村ノ馬事振興ト云フモノハ現内閣ニ依ッテ願ミラレナカッタノデアルト謂ハナケレバナラヌノデアリマス、且又政府ガソレ程御誠意ガアッタト云フコトデアリマスナラバ、本豫算ニ付キマシテハ十分ナル豫算ヲ計上セネバナラヌノデアリマス、只今ノ御辯明ニ依ルト非常ニ必要ダト云フコトヲ御考ヘデアル、而モ吾々カラ見ルト本法マデ改正シテ馬事振興ヲシナケレバナラヌ重大ナモノデアルト云フ御考デアリマスカラバ、本豫算ニ於キマシテ其豫算ガ半額ニマデ減ラサレコトヲ農林省ガ御認メニナルト云フコトハ、吾々ハ馬事振興ニ對シテ御熱心デナカッタと思フ、併シ農村ノ非難ヲ免レンガ爲ニ已ムヲ得ズ救護法ト云フ一方ニ看板ヲ造リ、一方ニ牧野改良ト云フヤウナコトノ口實ニ隱レテ、サウシテ競馬法ト云フモノヲ改正シテ財源ヲ得テ辛ウジテ、熱心デハナカッタケレドモ、世間ノ非難ヲ受ケルコトガ忍ビ難イノデアルカラ、無イ袖ハ振レナイデ、已ムヲ得ズ競馬法ヲ改正シテ救護法ノ財源ニシ、救護法ニ使フト云ヘバ世間態ガ惡イカラ馬事振興ニ使フ、斯ウ云フヤウナ建前ニオヤリニナッタコトハ何トシテモ此豫算ヲ拜見シ、又本豫算竝ニ追加豫算ヲ考ヘルト、此金ヲ救護法ニ使フト云フ此建前カラ考ヘテ相容レナイコトと思フノデアリマス、是ハ意見ニナリマスカラ此程度ニ止メマスガ、最後ニ一ツ御願ヒシテ置キタイコトハ、何カ云フト農林大臣ハ節約々々ト云フ御話ガ盛ニ出マスガ、競馬法ニ於キマスル政府ノ收入ニ關シテ佛蘭西ニ於テハ、馬事振興ニ幾何ノ程度ヲ使ヒ、慈善事業ニ幾何使ヒ、水道事業ニ幾何使ッテ居ルカト云フコトヲ此表ニ依ッテ拜見シテ見マス、政府ガ競馬法ニ依ッテ得マスル金額ノ總計ハ九百一萬八千六百七十七圓ニナッテ居リマス、サウシテ慈善事業ニ使用シテ居ル金ハ幾ラカト申シマス、三百九十二萬六千七百二十六圓、水道事業ニハ二百二十三萬四百五十圓ヲ使用シテ居リマス、農業及獸醫教育事業

ニハ六十九萬三百七十五圓使用シテ居
リマス、然ラバ馬事振興ニドレダケノ
金ヲ使用シテ居ルカト云フト二百七萬
千百二十六圓ト云フ金額ニナツテ居リ
マスカラ、政府ノ納入金トシテ九百一

ニナツテ居ラス程度ノモノト思フノデアリ
マスルガ、農林大臣ハ如何ニ之ヲ御考
ニナツテ居リマススカ最初ニ此事ヲ伺
置キタイ

馬事振興ノ爲ニ佛蘭西ニ於テ費ス其割
合ト、我國ニ於テ三分ノ二以上ハ必ズ
馬事振興ニ使フト云フ割合トハ、日本
ノ方ガ餘程多イヤウニ此表ヲ見マシテ

ス、尙ホ又政府自ラガ一般會計ニ於テ
ドレダケノ金ヲ佛蘭西ガ使用シテ居ル
カラ調ベテ見ルト、四百十三萬二千二
十四圓ト云フモノヲ馬政局ノ事業經營
ニ要スル經費トシテ之ヲ計上シテ居

萬餘圓ノ中カラ僅ニ馬産事業ニ付キマ
シテハ二百七萬餘圓シカ使ツテ居ナイ
ヤウニ見エテ居リマス、ケレドモ第五
ノ政府納付金以外ニ競馬會ヨリ馬事獎
勵ノ爲ニ支出スル金額ノ總計ヲ見マス

○町田國務大臣 陸軍ノ方モ御出デマ
アリマスガ、佛蘭西ニ於キマシテハ、
馬事振興ノ爲ニ一億萬以上ノ法ヲ費シ
テ居ル、佛蘭西ノ國防上馬ヲ必要トス

○藤井委員 佛蘭西ノヤウニ競馬法ニ
依リマシテ得マスル政府ノ金並ニ競馬
會ガ競馬法ニ依リマシテ得マスル金ノ
總額ト云フモノガ、

ガ競馬法ニ依リマシテ得マスル收入、
競馬會ガ馬事振興ノ爲ニ使用シマスル
收入ヲ合セマスルト、九百萬圓、此馬
政局ノ事業經費ニ要スル經費トシテ計

是ダケガ特別ニ競馬會カラ馬事獎勵ノ
爲ニ馬事振興費トシテ是ガ使用サレテ
居ルノデアリマスルカラ、馬事振興ノ
爲ニ使用シテ居リマスル所ノ總額ヲ考

ハ別問題トシテ、御話ノ通り、佛蘭西
ニ於テハ馬事振興ノ爲ニ納付金以外ニ
費シテ居ル金ヲ合セマス、一億萬ニ

當然デアリマスルケレドモ、我國ハマ
ダ其程度ニモ立至ラズ、現ニ競馬法ノ
法文カラ見マシテモ、如何ニ我國ガ改

マ、殆ド政府ガ其半額ニ達シマスル四
百萬圓以上ノモノヲ之ヲ支出シテ居ル
ニ拘ラズ、我國ニ於テハ佛蘭西ノ競馬

慈善事業ニモ金ヲ使用シテ居リマスガ
殆ド一千萬圓近イ所ノ金額ト云フモノ
ヲ、政府並ニ競馬俱樂部ト云フモノガ

ハ慈善事業、水道事業及ビ農業方面ニ
向ツテ投ジテ居ル、競馬カラ得マシタ納
付金ヲ以テ此方面ニ投ジテ居ルノハ、

ハ困難デアラウト考ヘル、此城ニ達ス
ルコトモ困難デアレバ、現在ニ於テモ
殆ド佛蘭西等ニ比較シマスルナラバ、

ハ百萬圓ト云ヘバ明年度ニ於キマシテ
ハドウ云フ比較ニナリマスルカ、殆ド
其三分ノ一ニモ足ラヌヤウナ經費ニナ

照致シマシテ現在ニ於テ我國ノ馬事振
興ト云フモノガ政府ニ於テ十分デア
ルト御考ヘニナリマスルカ、吾々ハ佛蘭

表ニ依リマスルト、社會事業並ニ慈善
事業、水道事業等ニ用ヒマスル分量ハ、
西ト比較シマシタナラバ、

方ニ御使ヒニナルノハ誤ツテ居リヤセ
スカト思フカラ御尋スルノデアリマ

カラ之ヲ出ス、サウシテ其倍額ノモノ

ヲ競馬ニ使用スルコト云フ裕リガ出來テ居リマスカラ、始メテ之ヲ社會事業ニ使用スルコト云フコトニナルト思フニ拘ラズ、現内閣ニ於テハ、田中内閣當時ニ於ケル豫算ニ於テ、一般會計カラ來マスル金ノ殆ど半分モ之ヲ出サナイデ置イテ、サウシテ佛蘭西ノ方法ガ斯ウデアルカラ、佛蘭西ノ方デヤッテ居ルカラト云フヤウナコトハ受取レヌノデアリマス、若シモ佛蘭西ノヤッテ居リマサウナ例ニ倣フト致シマスレバ、政府自ラ現内閣ガ計上シマシタ所ノ百萬圓ノ一般會計カラ來マス豫算ト云フモノヲ二百萬圓ニ致ス、或ハ二百五十萬圓ニシテ、サウシテ尙又競馬法改正ニ依ッテ得マシタ金ノ方ハ其三分ノ二以下ニ下ルコトヲ得ズト云フ規定ヲ持ッテ來ルナラバ尙ホ恕スベキデアリマスカラ、一般會計ノ上ニ於テハ出來ルダケ競馬ノ金ヲ持ッテ來テ、賭博ノヤウナ射倖心ニ依ッテ得タ金ダケヲ以テ馬事振興ニ充テルト云フコトハ、佛蘭西ノ例、佛蘭西ノ例ト仰シヤルガ、佛蘭西ニハ其例ガナイノデアリマス、又佛蘭西ハ社會事業ヲヤッテ居ルト仰セニナルガ、佛蘭西ノ一般會計カラ政府ノ出シマス金ハ殆ど四百萬圓近クノ金ヲ出シ、一方競馬法改正ニ依リマシテ、其倍額ノ金ヲ馬事振興ノ爲ニ使用シテ居リマスカラ、其一部分ヲ

以テ社會事業ニ使用シテ居ルト云フコトガ、佛蘭西ノ建前デアルト云フコトハ、此表ニ依ッテ明瞭デアアル、若シ社會事業ニ對シテ政府ガ眞ニ誠意ガアルナラバ、出來ルダケ一般會計ノ金ヲ使用シ、更ニ此競馬法改正ニ依ッテ餘分ノ金ガアルナラバ、其金モ持ッテ來テ、社會事業ノ爲ニ使フト云フナラバ、佛蘭西ノ例ニモ合フノデアリマスガ、現内閣ノ財政ノ建前カラ見マシテモ、佛蘭西ノ例ニ倣ッテ、其結果救護法等ノ社會事業ニ其金ヲ使フモノデアルト云フコトヲ言ハレマスケレドモ、名前ダケハ似テ居リマスガ、之ヲ佛蘭西ノ例ト比較スルコトハ出來ナイモノト考ヘマス、其點ニ付テ農林大臣ハ如何ニ御考ヘナリマスカ

用ガ、年々競馬ニ依ッテ得ル收入デ十分ニ足りテ、其餘リヲ社會事業ニ使ッタコトニハナッテ居リマセヌ、古イコトデアリマスガ、佛蘭西デ馬事振興ノ爲ノ競馬ニ依ッテ得タ收入ノ一部ヲ社會事業ニ投ジ始メタ二十年前ニ於テ、馬事振興ノ計畫ガ既ニ完備シテ居ッタカラト云フト、サウデハアリマセヌ、ヤハリ次第々々ニ競馬收入ノ増加ト同時ニ、馬事振興ノ方ニ向ケル經費モ亦殖エテ居リマス、其事情ヲ御考ヘ下サルト、既ニ完備シタ後ニ初メテ社會事業ニ其餘リヲ使ッタト云フコトハアリマセヌ、ヤハリ年々處ヲ經ルニ從ッテ馬事振興ニモ色々ノ施設ガ殖エマスカラ、年々馬事振興ニ對スル經費モ殖エルノデ、モウ是デ完備シタカラ宜シイトシテ、社會事業ニ其收入ヲ使ッタト云フコトハ、心持ハ或ハ左様ナ心持デアッタカ知レマセヌガ、實際ニ於テハヤハリ其收入ノ一部ヲ社會事業ニ向ケタ後ニモ、馬事振興上必要ナル費用ハ、之ヲ殖シテ居リマスカラ、日本モ今後段々馬事思想ガ普及シテ、相當競馬ガ盛ニナリマスレバ、左様ニナルト思ヒマス、唯藤井サンニ一ツ御參考マデニ申述ベテ置キタイノハ、是デ射倖心ヲ煽ルト云フ考ハ、此度ノ法案ニハ十分其點ヲ注意シテ、寧ロ其危險率ヲ餘程減ジタ意味ノコトガ加ハッテ居リマシテ、其點ハ

此度ノ改正デハ十分注意シテ除イテアル積リデアリマス、若シ射倖心ヲ煽ル虞ガアルトスレバ、ソレハ單勝式ノ方ニハ相當アリマセウガ、複勝式ノ方ニハ單勝式ニ比較シテ、此射倖心ヲ煽ル點ハ餘程少イ、寧ロ其危險率ハ減ッテ居ル、斯様ナ建前デ此案ヲ作ッタノデアリマス

○高橋(熊)委員 只今ノ事ニ關聯致シマシテ、一言質問ヲシテ見タイト思ヒマス、只今二十年程前ノ古イ佛蘭西ノ例ヲ色々御取リニナリマシタ、ソレハ競馬ノ收入ハ社會事業ニモ分ケテヤルベキ性質ノモノデアルト云フコトノ例證トシテ擧ゲラレタノデアリマス、併シ其當時ノ佛蘭西ノ馬事ノ狀態ハ日本トハ同日ノ論デハナイデヤアリマセウカ、殊ニ佛蘭西ノ如キハ世界ニ冠タル「ベルシロン」ガ出來テ居ル、彼處ノ邊ニハ非常ニ立派ナ「アルファルファ」即チ「ルーザン」ト云フ立派ナ牧草ガ繁茂シテ居ル、サウ云フ狀態ニ於テ重輓馬トシテ英國ノ「クライデスデール」ヲ凌駕シテ「ロン」ト云フ種類ガ出來、一方中間種ノ「アングロノルマン」ト云フ種類ガ出テ、ソレガ世界各國ノ中間種風靡シテ居ル有様ニナッテ居ル、サウ云フ風ニ佛蘭西ノ馬事振興ト日本ノ馬事振興トハマルデ違ッテ居ル、日本ハ其時分カラ遅レテ居ル、而モ其佛蘭西邊リデ

ヲ競馬ニ使用スルコト云フ裕リガ出來テ居リマスカラ、始メテ之ヲ社會事業ニ使用スルコト云フコトニナルト思フニ拘ラズ、現内閣ニ於テハ、田中内閣當時ニ於ケル豫算ニ於テ、一般會計カラ來マスル金ノ殆ど半分モ之ヲ出サナイデ置イテ、サウシテ佛蘭西ノ方法ガ斯ウデアルカラ、佛蘭西ノ方デヤッテ居ルカラト云フヤウナコトハ受取レヌノデアリマス、若シモ佛蘭西ノヤッテ居リマサウナ例ニ倣フト致シマスレバ、政府自ラ現内閣ガ計上シマシタ所ノ百萬圓ノ一般會計カラ來マス豫算ト云フモノヲ二百萬圓ニ致ス、或ハ二百五十萬圓ニシテ、サウシテ尙又競馬法改正ニ依ッテ得マシタ金ノ方ハ其三分ノ二以下ニ下ルコトヲ得ズト云フ規定ヲ持ッテ來ルナラバ尙ホ恕スベキデアリマスカラ、一般會計ノ上ニ於テハ出來ルダケ競馬ノ金ヲ持ッテ來テ、賭博ノヤウナ射倖心ニ依ッテ得タ金ダケヲ以テ馬事振興ニ充テルト云フコトハ、佛蘭西ノ例、佛蘭西ノ例ト仰シヤルガ、佛蘭西ニハ其例ガナイノデアリマス、又佛蘭西ハ社會事業ヲヤッテ居ルト仰セニナルガ、佛蘭西ノ一般會計カラ政府ノ出シマス金ハ殆ど四百萬圓近クノ金ヲ出シ、一方競馬法改正ニ依リマシテ、其倍額ノ金ヲ馬事振興ノ爲ニ使用シテ居リマスカラ、其一部分ヲ

以テ社會事業ニ使用シテ居ルト云フコトガ、佛蘭西ノ建前デアルト云フコトハ、此表ニ依ッテ明瞭デアアル、若シ社會事業ニ對シテ政府ガ眞ニ誠意ガアルナラバ、出來ルダケ一般會計ノ金ヲ使用シ、更ニ此競馬法改正ニ依ッテ餘分ノ金ガアルナラバ、其金モ持ッテ來テ、社會事業ノ爲ニ使フト云フナラバ、佛蘭西ノ例ニモ合フノデアリマスガ、現内閣ノ財政ノ建前カラ見マシテモ、佛蘭西ノ例ニ倣ッテ、其結果救護法等ノ社會事業ニ其金ヲ使フモノデアルト云フコトヲ言ハレマスケレドモ、名前ダケハ似テ居リマスガ、之ヲ佛蘭西ノ例ト比較スルコトハ出來ナイモノト考ヘマス、其點ニ付テ農林大臣ハ如何ニ御考ヘナリマスカ

用ガ、年々競馬ニ依ッテ得ル收入デ十分ニ足りテ、其餘リヲ社會事業ニ使ッタコトニハナッテ居リマセヌ、古イコトデアリマスガ、佛蘭西デ馬事振興ノ爲ノ競馬ニ依ッテ得タ收入ノ一部ヲ社會事業ニ投ジ始メタ二十年前ニ於テ、馬事振興ノ計畫ガ既ニ完備シテ居ッタカラト云フト、サウデハアリマセヌ、ヤハリ次第々々ニ競馬收入ノ増加ト同時ニ、馬事振興ノ方ニ向ケル經費モ亦殖エテ居リマス、其事情ヲ御考ヘ下サルト、既ニ完備シタ後ニ初メテ社會事業ニ其餘リヲ使ッタト云フコトハアリマセヌ、ヤハリ年々處ヲ經ルニ從ッテ馬事振興ニモ色々ノ施設ガ殖エマスカラ、年々馬事振興ニ對スル經費モ殖エルノデ、モウ是デ完備シタカラ宜シイトシテ、社會事業ニ其收入ヲ使ッタト云フコトハ、心持ハ或ハ左様ナ心持デアッタカ知レマセヌガ、實際ニ於テハヤハリ其收入ノ一部ヲ社會事業ニ向ケタ後ニモ、馬事振興上必要ナル費用ハ、之ヲ殖シテ居リマスカラ、日本モ今後段々馬事思想ガ普及シテ、相當競馬ガ盛ニナリマスレバ、左様ニナルト思ヒマス、唯藤井サンニ一ツ御參考マデニ申述ベテ置キタイノハ、是デ射倖心ヲ煽ルト云フ考ハ、此度ノ法案ニハ十分其點ヲ注意シテ、寧ロ其危險率ヲ餘程減ジタ意味ノコトガ加ハッテ居リマシテ、其點ハ

此度ノ改正デハ十分注意シテ除イテアル積リデアリマス、若シ射倖心ヲ煽ル虞ガアルトスレバ、ソレハ單勝式ノ方ニハ相當アリマセウガ、複勝式ノ方ニハ單勝式ニ比較シテ、此射倖心ヲ煽ル點ハ餘程少イ、寧ロ其危險率ハ減ッテ居ル、斯様ナ建前デ此案ヲ作ッタノデアリマス

○高橋(熊)委員 只今ノ事ニ關聯致シマシテ、一言質問ヲシテ見タイト思ヒマス、只今二十年程前ノ古イ佛蘭西ノ例ヲ色々御取リニナリマシタ、ソレハ競馬ノ收入ハ社會事業ニモ分ケテヤルベキ性質ノモノデアルト云フコトノ例證トシテ擧ゲラレタノデアリマス、併シ其當時ノ佛蘭西ノ馬事ノ狀態ハ日本トハ同日ノ論デハナイデヤアリマセウカ、殊ニ佛蘭西ノ如キハ世界ニ冠タル「ベルシロン」ガ出來テ居ル、彼處ノ邊ニハ非常ニ立派ナ「アルファルファ」即チ「ルーザン」ト云フ立派ナ牧草ガ繁茂シテ居ル、サウ云フ狀態ニ於テ重輓馬トシテ英國ノ「クライデスデール」ヲ凌駕シテ「ロン」ト云フ種類ガ出來、一方中間種ノ「アングロノルマン」ト云フ種類ガ出テ、ソレガ世界各國ノ中間種風靡シテ居ル有様ニナッテ居ル、サウ云フ風ニ佛蘭西ノ馬事振興ト日本ノ馬事振興トハマルデ違ッテ居ル、日本ハ其時分カラ遅レテ居ル、而モ其佛蘭西邊リデ

使フ「ベルシロン」ヲ持ッテ來テ、農林大臣ノ縣ナドへ獎勵シテ居ル、サウシテ佛蘭西デ育ッテ米國デ國賓ト云フ立派ナ待遇ヲ受ケテ來タ、ソレヲ日本ニ持ッテ來ルト云フコトニナッテ居ル、ソレデアルカラ、秋田邊リヂヤ草ガナクテ育テラレナイト云フ有様デアル「アングロノルマン」ニアッテモ其通りデアル、ソレデアリマスカラ佛蘭西ト日本トハ雲泥ノ相違ガアルト云フノハ此事デア、先ヅ第一ニ草ガ整ッテ居ナイ、世界デ有名ナ良イ草ヲ有ッテ居ル佛蘭西ハ、馬事思想モ非常ニ進ンデ居ル、サウ云フ所ト一衣帶水世界デ有名ナ競馬地デアル英吉利、其處ヘハ世界ノ富豪達ガ集ッテ來ル、隨テ其競馬ノ弊害モ多イガ、彼處ハ社會主義ガ非常ニ發達シタ所デアルカラ、色々論議モアッテ此競馬ノ收入ヲ社會事業ニ使ヘト云フノハ當然デア、日本ノ國情トハ餘程違ッテ居ル、日本デハ誰モ競馬ノ收入ヲ社會事業ニ使ヘ、使ハナケレバ内閣ノ倒否ニ關スルヤウナ問題ハ起ッテ居ラス、佛蘭西デハソレガ起ッテ居ル、而モ競馬收入バカリデハナイ、有ユル收入ヲ社會事業ニ注グ、サウ云フ國トハ洵ニ雲泥ノ相違ガアルト考ヘル、ソレデア、ルカラ馬事ノ狀態カラ言ッテモ、佛蘭西ノ政治ノ狀態カラ言ッテモ日本ハ到底比較ニナラス、佛蘭西デハ二十年前カラ競

馬收入ノ一部分ヲ社會事業ニ割イテ居ルカラ、日本デモ競馬法施行ノ上ニ於テ其收入ヲ社會事業ニ使ハナケレバナラヌト云フ理窟ヲ產出スコトハ出來ナイト思フ、現ニ是ハ公然ノ祕密ノヤウニ傳ハッテ居ルガ、省内デモ此改正案ニハ隨分御議論ガアッタ思フ、殊ニ此處ニ御列席ノ馬事問題關係ノ方ハ熱心ニ反對サレタニ違ヒナイ、サナキダニ馬事ガ後レ勝デアリ、年々減退シツ、アル馬事ノ費用ノ一部ヲ割イテ他ノ方ヘ利用シ、殊ニ緣故ノ薄イ社會事業ヘ之ヲ持ッテ行クトハ何事デア、ルカ、社會事業ヘ持ッテ行ク位ナラバ、今日物價下落ニ伴ウテ官吏ノ俸給ヲ減額シテ其金ヲ持ッテ行クノガ至當デハナイカ、ソナ議論ガ出タカ出ナイカ私ハ分ラヌガ、恐ラクハソレ位ハ少壯ノ元氣ノ好イ連中ダカラ言ハレタト思フ、兎モ角之ヲ外ノ方ニ持ッテ行カレチャ困ルト云フヤウナコトハ猛烈ニ言ハレタニ違ヒナイ、ソレデ農林大臣ハ板挾ミニナッテ御困リニナッタヤウデス、農林事務大官某君ノ如キハ初メハ強硬ニ出ラレタケレドモ、大臣アタリカラ口説キ落サレテ、最後ニ行ッテ内閣ガ選タラオ前ハ貴族院議員ニデモ推薦シテヤルト云ッタヤウナコトデ、遂ニ默ッテ部下ノ者ヲ大ニ鎮撫シタト云フヤウナコトハ、是ハ公然ノ祕密ニナッテ居ル、

其證據ニハ内閣ノ送リ目ニナレバ必ズソレニ違ヒナイ、是ハ分ッテ居ル、サウ云フヤウナ非常手段マデ執ッテ是ハ御ヤリニナッタノデハナイカト云フヤウナコトデ、熱心ニ氣違ヒノヤウニナッテ馬事其他畜産ノ方面ニ關係シテ居ル者ハ、涙ヲ流シテ私共ノ説ヲ聞イテ居ルノデス、サウ云フコトデアリマスルカラ只今御答辯ニナッテ、佛蘭西ノ例ナドヲ能ク御引キニナッテ色々御比較ニナルガ、比較ニモ何ニモナリハシナイ、是ハドウモ内閣モ收入ハ一方デハ減少シテ來ルノデ、ソレヲ如何ニシテ辻褄ヲ合セルカト云フコトニ付テハ、非常ニ困難ヲ感ジテ居ルノデア、農林大臣ハ自分モ内閣ニ於テハ大ニ勢力ガアルノデア、大藏大臣ニ泣面ヲサセルト云フノモ氣ノ毒デア、全國カラ數萬ノ方面委員ナドト云フ者ガ集テ來テ、サウシテ上奏マデシテ政府ニ肉薄スルト云フヤウナ、穩カナラヌ空氣デア、ルカラ、何トカシテ救護法ト云フモノハ實施シナケレバナラス、ソレデ幸ヒ從來佛蘭西ナドガヤッテ居ルヤウニ、社會事業ニモ幾部分ヤッタ此博奕ヲヤラセルト云フヤウナコトニ付テ、幾分カ社會ノ輿論ガ緩和サレルダラウト云フヤウナコトデ、ソレヲ幸トシテ競馬法ヲ改正シテ、兩天秤ヲ掛ケョウト、斯ウ云フヤウナコトガ動機

ニナッテヤッタ、所謂救護法實施ト云フモノガ刺戟ニナッタト云フノハ此處ヲ消息ヲ物語ッテ居ルモノダト思フ、ソレデカラ若シアナタノ立場ヲ宜クスルト云フナラバ、幸ヒサウ云フノデア、カラ、大藏省ガ狙ッテ居ッタノヲ、ソレヲ餌ニシテ之ヲヤッタト率直ニ仰セシナレバアナタノ手柄ニナル、ソレヲ隠シテ居ルト如何ニモアナタハ大藏大臣ニ引摺ラレタヤウニナル、内務大臣ニ引摺ラレタ形ニナル、私共ハアナタノ實力カラ言ッテ大藏大臣ヤ内務大臣ノ比ヂヤナイト思ッテ居ル、サウ考ヘテ居ルカラ、私共ハ御答辯ト云フモノハ率直ニヤッテ下サッタ方ガ宜イト思ヒマス

○町田國務大臣 別ニ御尋デモアリマセヌシ、想像ニ委セマス、併シ一言申述ベテ置カナケレバナラスノハ、省内デハ事務方面ニ於テハ非常ニ之ニ反對デアッタト云フノハドウ云フコトカ知リマセヌガ、私ノ信ズル所ニ於テハ事務當局ハ大喜ビデアリマス、此改正ニ依ッテ、法律ニ依ッテ三分ノ二以上ハ馬事振興ニ使ハレルト云フコトニナッタノデ、動モスレバ外ノ財源ニ取ラル、虞ガアルコトヲ除イテ、高橋君ガ數年來熱心ニ唱ヘラレテ居ッタ牧野法モ制定出來、種馬ノ補充モ出來ルト云フノデ、畜産局全體舉ゲテ大喜ビデ日夜勉強シテ之ヲ作ッタノデアリマス

○川島委員

私ハ農林大臣ニ多數ノ質

問ヲ持ッテ居リマスガ、只今ノ事ニ關聯

シタ所ダケ御尋シテ置キマス、今農林

大臣ノ藤井君ニ對スル御答辯ニ、今日

競馬法ヲ改正ヲシテ、單勝式ノ外ニ複

○町田國務大臣

舊法ニ依リマスト富

籤類似ノモノト法規ノ上デ認メテ居リ

マスルガ故ニ、此特別法ニ於テハソレ

ヲ取除ケラシタコト、斯様ニ解釋シテ

○川島委員

危險ガ輕減サレ、バ賭博

ノ性質ガ輕減サレルト言ハレルガ、今

日一般ノ賭博ト云フモノハ色々ヤリ方

ガアリマス、骰子ヲ使ッテヤル賭博デモ

○町田國務大臣

又「チーハー」ナドハ初メ三十六アリマ

スガ、其中是ハ農林大臣ハ苦勞人ダカ

ラ無論御存ジデアリマセウガ、其「チー

ハ」ヲ買フ時ニモ、十箇所買ッテモ五

○川島委員

箇所買ッテモ差支ナイ、當レバ十六倍

來ルノダカラ、三十六アルケレドモ幾箇

所買ッテモ差支ナイ、又骰子ヲ使フ賭博

ニシテモ、丁半ハ二箇所デアリマスケレ

○川島委員

場合モアル、幾箇所買ッテモ構ハナイガ、

ヤハリ賭博ノ性質ハ變リハシナイ、今ノ

複勝式ニシテ三等マデ與ヘマシタカラ

シテ、賭博ノ性質ガ輕減サレルト云フ議

○川島委員

論ハチットモ立タナイ、賭博ト云フモノ

ハ一體偶然ノ利ヲ爭フモノデアアル、元

來競馬ニ對シテ、中ニハ是ハ賭博デナ

イト云フ議論ガアル、其議論ノ根據ハ

○川島委員

何處カト云フト、一體競馬ト云フモノ

ハ馬ノ能力ヲ見ル、或ハ教訓ノ工合ヲ

シテモ、三等マデノ複勝式デアレバ、

○川島委員

見ル、馬場ノ具合ヲ見テ、必ズ勝ツノ

ガキマッテ居ル、チャント合理的ニ自然

的ニ考ヘレバ分ルノダカラ、決シテ競

馬ト云フモノハ賭博デナイト云フ議論

○川島委員

ヲスル人モアリマスガ、之ニ付テハ學

者竝ニ司法部内デハ反對ノ意見ヲ持ッ

テ居リマス、併シサウ云フ議論モアル、

此議論ハ勝ツ馬ハキマッテ居ル、ソレヲ

○川島委員

爭フノダカラ賭博デナイト云フコト

ニナルノデスガ、アナタハドノ馬ガ勝

ツカ分ラナイカラ三等マデヤルト云フ

コトニナルト、折角唯一ツ殘ッテ居ル競

○川島委員

馬ハ賭博デナイト云フ議論ヲ覆スコ

トニナルノデアリマス、此危險ヲ分擔

シテ何處ニ賭博ノ性質ガ輕減スルカ、

チットモ賭博ノ性質ハ違ハスト思フ、御

○川島委員

分リニナリマセスカ

○戸田政府委員 私カラ大臣ノ御話ノ

趣旨ヲ申上ゲタイト思ヒマス、詰リ二

十圓デ一枚買ヒマシテ、或ル甲ナラ甲

○川島委員

ト云フ一等ノ馬ニ付テノ拂戻ヲ受ケル

譯デアリマス、單勝式ノ場合ハ、斯ル

各個人々々ノ立場カラ見テノ御質問デ

アリマスガ、ソレデ私共斯ウ考ヘルノ

○川島委員

デアリマス、其場合ニ於テ二十圓ニ當

ルカ當ラヌカ、其買フ人ノ懷カラ言ヘ

バ、外レルカ外レヌカ、無クナルカ無

クナラヌカト云フ問題ニナルノデス、

○川島委員

複勝式ノ場合ハ、同ジ二十圓デ買ヒマ

シテモ、三等マデノ複勝式デアレバ、

甲ノ馬ガ一等ニ入ラヌデモ、二等ニ入ッ

タ場合モ三等ニ入ッタ場合モ、拂戻ヲ受

○川島委員

ケル譯デアリマス、隨テ返ッテ來ル可能

性ガ多イ譯デアリマス、必ズ二十圓ガ

一度ニ無クナルカ無クナラヌカト云フ

程度ガ變ッテ來ル譯デアリマス、隨テ各

○川島委員

個人々々カラ考ヘタナラバ、賭博ノ

要素ガ、危險分散ノ形デ減ルト云フ意

味デアリマス、ソレダカラ只今御話ガ

アリマシタ點ノ、鑑賞力、鑑定力ト云

○川島委員

フ點ニ付キマシテハ、勿論競馬ト云フ

モノガ偶然ノ輸贏ヲ爭フ程度ノモノデ

ナク、鑑賞力ト云フコトガ十分要素ニ

入ッテ居リマスガ故ニ、賭博デハナイ

○川島委員

ガ、富籤類ノモノト普通解釋サレテ居

マス、其爲ニ段々馬ガ揃ッテ參リマス

レバ、鑑賞力ノ點カラ言ヒマシテ鼻ノ

差デ入ルト云フコトガ多クナルト云フ

○川島委員

關係モアルノデアリマスカラ、其點カ

ラ申シマシテモ、複勝式ヲ採用スルコ

トガ宜イノデアリマシテ、同時ニ其結

果ガ、馬券ヲ買フ人ノ個々ノ關係カラ

○川島委員

申セバ、所謂偶然ノ輸贏ノ程度ガ減ズ

ルト云フ意味カラ、所謂賭博性ガ減ジ

テ來ル、其意味ニナルト思フノデアリ

マス

○川島委員

私ハ長ク追窮致シマセヌ

ガ、一體危險ガ分散スレバ、賭博ノ性

質ガ減ルト云フ議論ガアリマスガ、局

長ハ無論法律ヲ御學ビニナッテ、文官試

○川島委員

ハ馬ノ能力ヲ見ル、或ハ教訓ノ工合ヲ

シテモ、三等マデノ複勝式デアレバ、

見ル、馬場ノ具合ヲ見テ、必ズ勝ツノ

ガキマッテ居ル、チャント合理的ニ自然

○川島委員

的ニ考ヘレバ分ルノダカラ、決シテ競

馬ト云フモノハ賭博デナイト云フ議論

ヲスル人モアリマスガ、之ニ付テハ學

者竝ニ司法部内デハ反對ノ意見ヲ持ッ

○川島委員

テ居リマス、併シサウ云フ議論モアル、

此議論ハ勝ツ馬ハキマッテ居ル、ソレヲ

爭フノダカラ賭博デナイト云フコト

ニナルノデスガ、アナタハドノ馬ガ勝

○川島委員

ツカ分ラナイカラ三等マデヤルト云フ

コトニナルト、折角唯一ツ殘ッテ居ル競

馬ハ賭博デナイト云フ議論ヲ覆スコ

トニナルノデアリマス、此危險ヲ分擔

○川島委員

シテ何處ニ賭博ノ性質ガ輕減スルカ、

チットモ賭博ノ性質ハ違ハスト思フ、御

分リニナリマセスカ

○戸田政府委員 私カラ大臣ノ御話ノ

○川島委員

趣旨ヲ申上ゲタイト思ヒマス、詰リ二

十圓デ一枚買ヒマシテ、或ル甲ナラ甲

ト云フ一等ノ馬ニ付テノ拂戻ヲ受ケル

譯デアリマス、單勝式ノ場合ハ、斯ル

○川島委員

各個人々々ノ立場カラ見テノ御質問デ

アリマスガ、ソレデ私共斯ウ考ヘルノ

デアリマス、其場合ニ於テ二十圓ニ當

ルカ當ラヌカ、其買フ人ノ懷カラ言ヘ

○川島委員

バ、外レルカ外レヌカ、無クナルカ無

クナラヌカト云フ問題ニナルノデス、

複勝式ノ場合ハ、同ジ二十圓デ買ヒマ

シテモ、三等マデノ複勝式デアレバ、

驗ヲ通ツテ局長ニオナリニナッタノデア
ルカラ、大臣トハ違ッテ法律ハ十分御分
リノコト、思ヒマスガ、賭博ノ字義ニ
サウ云フコトガアリマスカ、賭博ハ偶
然ノ輸贏ヲ爭フモノデアッテ、危険ノ分
散ニ依ッテ賭博性ガ無クナルト云フコ
トハ、私ハ有リ得ナイト思フ

○戸田政府委員 複勝式ノ爲ニ賭博ニ
類スル行爲ハ全然無クナルト云フ譯デ
ハアリマセヌ、其限度ガ——只今申上
ゲタヤウニ、輸贏ヲ決スル關係ガ減少
スル、幅ガ狭クナルト云フ意味デアリ
マス

○川島委員 「フアン」ノ損害ノ程度ガ
少クナル、斯ウ云フコトハ分ル、併シ
ソレガ爲ニ賭博ノ性質ガ減ルト云フコ
トハ私諒解出來マセヌケレドモ、是ハ
モウ宜シウゴザイマス

○藤井委員 大事ナ點デアリマスカラ
御伺ヒシタイ、只今書類ヲ頂戴シマシ
タガ、佛蘭西ハ千八百九十一年競馬賣
上ノ僅少ナリシ時代ヨリ、慈善事業ニ
用ヒタト書イテアリマスケレドモ、日
本ノヤウナ制度ノ競馬競技ヲヤッテハ
居ラナクッタト思ヒマス、其點ノ比較ニ
ハナラナイト思ヒマスガ、日本ノヤウ
ニ競馬ノ取締ヲ嚴重ニシテ一枚シカ與
ヘナイ、之ニ依ッテ單勝式トカ複勝式ト
カ云フヤウナ制限ヲ與ヘテヤッテ居ラ
ナクッタト思ヒマスカラ——書付ヲ頂

戴致シマシタケレドモ、チヨット納得ノ
出來マセヌ——私ノ最モ明確ニ政府ノ
御答辯ヲ願ッテ置キタイノハ、此度ノ改
正ニ依ッテ得マセヌ金ノ三分ノ二以上ト
云フモノハ、大體馬事振興ニ御使ヒニ
ナル御考ガアルカドウカ、此點ヲ御聽
キシタイト思ヒマス

○町田國務大臣 今後馬事思想普及ト
共ニ、競馬ノ收入モ相當ニ殖エルト思
ヒマス、此殖エタ範圍内ニ於テ救護法
ニ分ツベキ財源トシテハ、當分ノ間ハ百
萬圓以上ニ上ラヌト云フ話合フシテ居
ルノデアリマス、而シテ百萬圓ノ中ノ

六十萬圓ハ——寧ロ内務省カラ農林省
ノ方ニ移管シタト見ベキ六十萬圓ニ四
十萬圓ヲ加ヘテヤリマス、其後段々所
謂馬事振興ノ爲ニ使フ分量ハ殖エルト
思ヒマスカラ、全部馬事振興ノ爲ニ使
ハズトモ、種馬ノ充實、牧野法制定、

其他馬事振興ニ關スル施設ハ、全部之
ヲ用ヒズトモ、相當豫期ノ目的ハ達セ
ラレルヤウニ考ヘマス
○高橋(熊)委員 今ノ地方費ノ關係デ
スガ、先程カラオカシイ——ト思ッテ
居ッタガ、今ノ御説明ヲ聽イテ尙ホオカ
シイト思ヒマスガ、内務省所管カラ農
林省所管ニ事務ハ移サレタカモ知レマ
セヌガ、今マデ地方デ取ッテ居ッタモノ
ハ地方費ニ入ルノデ、内務省本省ノ經
費ニ入ルノデアリマセヌ、會計ノ建

前ガ違ッテ居ル、之ヲ内務省ニ取上ゲル
ト云フコトハナイ、是ハ地方ノ收入ニ
ナルモノデアラウト思ヒマス

○町田國務大臣 先刻カラ屢、申上ゲ
テ居リマス通り、實ハ從來此六十萬圓
ハ——或ハ地方稅トシテ取ッテ居ル所
ガアリマス、或ハ納付金トシテ府縣ニ
入ッテ居ルモノモアリマス、ソレヲ此度
ハ内務省ト相談シテ地方費ハ、ソレハ
大體内務省所管ノ仕事デアリマシテ、此
經費自體ガ内務省所管ノ豫算ニ載ッテ
居ルト云フ意味デアリマセヌ、是ハ

屢、申上ゲテアリマス、左様ナ位ノコト
ハ私ハ承知シテ居リマス、内務省所管
ノ經費ノ中ニ入ッテ居ルトハ考ヘテ居リ
マセヌ、從來ハ地方、府縣ニ於テ納付
金若クハ、地方稅トシテ、十一箇所ノ
競馬俱樂部カラ取ッテ居ッタノヲ、今度
ノ法律ニ依ッテソレヲ左様ナ事ハ一切

致サヌコトニシタ結果、從來地方ニ行ッ
テ居ッタ六十萬圓ガ、農林省所管ノ事務
タル競馬ノ收入ニ加ハッテ來ル、斯様ニ
申上ゲタノデアリマス
○高橋(熊)委員 私ハソソナコトヲ
言ッテ居ラナイ、趣旨ガ間違ッテ居ル、地
方ニ入ルベキ所ノ六十萬圓ノ財源ヲ、
地方カラ奪フコトニナル、地方デハ其
金ヲ何ニ使ッテ居ルカト云フト、今ノ政
府ノ建前ノヤウニ、競馬ノ金ヲ馬事振
興ニ使フコトハ一々地方デハヤッテ居

リマセヌ、馬事振興ノ爲ニ使ッタカモ
知レナイ、競馬地ナドデハ其方ニ使用
シテ居ルカモ知レナイ、デスカラ今ノ
官僚的ノ頭ノ人ニナラナイデ地方ト云
フ見解デ、相當ニ今マデハ各府縣デ納
付金ナリ、地方稅ナリトシテ取ッテ、之
ヲソレハ——財源ニ充テ、事業計畫ヲ
ヤッテ居ル、ソレデアリマスカラソレヲ
廢メサセルト云フコトハ、唯所管違ヒ
ダノ、移管ダノト云フ譯ニハ行クマイ
ト思フ

○町田國務大臣 ソレハ先日モ申上ゲ
タ積リデアリマスカ、此案ヲ提出シテ、
從來地方財政ノ上一部ノ財源トナッ
テ居ッタノハ、各競馬地ノ納付金ヲ合ス
ト六十萬圓内外ト思ヒマス、ソレヲ今
度ハ地方ニハ課セヌヤウニシテ、中央

ニ於ケル、即チ農林省所管ニ於キマス
ル競馬ノ收入トシタノデアリマス、隨
テ高橋君其他ノ委員カラ御話ノ通り、
之ニ依ッテ相當地方ノ財政ノ上ニ影響
ガアルコト、思ヒマス、其點ハ私モ此
案ヲ立テル時ニ屢、内務大臣ト交渉シ
テ、是ノ善後策ヲ内務大臣ハ別途ノ方
法ニ依ッテ、此從來得テ居ッタ六十萬圓
ノ財源ヲ失ハレタ其後ヲ補フ爲ニ、内
務當局ハ適當ナ方法ヲ講ジテ、其心配
ガナイト云フコトノ言明ヲ得マシタ故
ニ、私ハ之ヲ移シタノデアリマスカ
ラ、若シ其點ニ對シテ御質問ガアルナ

ラバ、直接ニ内務當局カラ御聴キ下サ
イト云フコトヲ私ハ先日言ウテ居ルノ
デアリマス

○高橋(熊)委員 サウ云フコトハ言ハ
レタカモ知レマセヌ、其方面ハ其方デ
内務省ニ御尋シマスガ、併ナガラ、此
救護法ト云フモノハ、元來内務省所管
デア、ソレデ、内務省所管ノ事業デ
アルカラ、内務省デ收入ノ補充ガ出來
ルト云フナラバ、何モ之ヲ農林省ヘ移
スノ何ノト、サウ云フ手數ヲ掛ケナク
テモ宜シイデハナイカ、ソレヲサウ云
フ手數ヲ掛ケルノハ、其收入ガ不確實
デア、財源ガ不確實デア、ルカラシテ
サウ云フ手數ヲ執ッタノデハナイカ、私
ハサウ思ヒマス、内務省ノ仕事ヲ農林
省ニ移シテ、又農林省カラ持ッテ來ルナ
ント云フ、ソナ馬鹿ナコトヲスル必
要ハナイ、地方ノ財源ノ缺陷ヲ補ヒ得
ルト云フ確實ナ財源ガアルナラバ、内
務省自ラ直接救護法ニ使ヘバ宜イ、何
ヲ苦ンデ、此地方費ヲ農林省ニ移シテ、
ソレカラ自分ノ方ヘ仕事ヲ持ッテ來ル
ト云フヤウナ、ソナ馬鹿ナコトヲス
ル必要ガアラウ、ソコニ私共ハ不確實
性ガアル、何カソコニ「トリック」ガナ
ケレバナラヌ、斯ウ云フ工合ニ考ヘル
ノデアリマス

○岡田國務大臣 ソレハ高橋サンノ御
話ノ通り、内務省ノ經費ヲ減ジテ、若

クハ繰合セテ、ソレヲ地方ニ内務省カ
ラヤル、地方ガ競馬ニ依ッテ今マデ財源
ノ一部トシテ居ッタ六十萬圓ヲ、内務省
所管ノ經費ヲ何等カ繰合セテ地方ニ六
十萬圓ヤルト云フ立方デアリマスレ
バ、農林省カラ六十萬圓一旦移シテ、農
林省カラ財源ヲ廻シテ宜イコトハ勿論
デアリマス、併シ内務大臣ノ考ハ内務省
所管ノ經費ヲ減ジテ、ソレヲ地方ニヤ
ルト云フ考デナク、地方ニ於テ適當ナ
財源ヲ見出スト云フ意味デアリマスル
カラ、今ノ御話ト少シ違ヒマス

○高橋(熊)委員 イ、エチットモ違ハ
ナイ、今ノハ、何カ適當ナ財源ヲ見テ、
片方ハ捻出スル、節約ヲスル、國民ノ
負擔ヲ増加シテソレヲドウスルト云フ
ノデハナイ、何カ節約ヲシテ絞リ出ス
ト云フノナラバ、ソレハ、ソレダケデ
既ニ救護法ノ財源トシテ適當ナノデ、
何モ競馬法ノ頭ヲハネテソレヲ持ッテ
來ナケレバナラヌヤウナソナ馬鹿ナ
コトハ私ハナイト思ヒマス、ソレガ出
來ナイカラ——出來ルトアナタニハ請
合ッタト言ハレケレドモ、此世智辛イ
財政ヲ見テ、殊ニ失業事業公債マデ發
行シテヤラウト云フヤウナ内務省ガ、
ドンナ「カラクリ」ヲヤルカモ知レナ
イ、サウ云フコトヲ口デハ言フカモ知
ラヌガ實際ヤッテ見タラ出來ナイト言
フニ相違ナイ、地方ト云フ立場カラ言ッ

テ、地方費ノ枯渴シテ居ル今日ニ於テ、
更ニ地方費ヲ減ゼラレルト云フコト
ハ、ソナ不確實ナ、口ノ上ノ保證位
デハ、道理ニ合ハナイ保證デハ、農林
大臣ハソレデ信ゼラレルカモ知ラヌ
ガ、吾々國民ハ——農林當局ハ内務大

臣乃至内務當局ノ口吻ヲ信ゼラレタノ
デアラウト思ヒマスガ、吾々ハサウ云
フコトニハ何等信ヲ置ケナイ、是ハ重
大問題デアリマスカラ内務大臣ニ能ク
伺ヒマス、併ナガラ是ハ農林大臣ハソ
レデ満足サレルカモ知レヌケレドモ吾
吾ニハ満足出來ナイ重大問題デアリマ
ス、此上ニ減稅案デ以テ既ニ地方費ハ
非常ニ逼迫シテ居ルノニ、尙ホ更ニ六
十萬圓モ無クナス、地方費ニ於テモ多
大ノ馬事振興、畜產業ニハ使ッテ居リ
マス、ソレデア、ルカラソレ等ノ財源ト
云フモノヲ無クスト云フコトハ、中央
ダケガ財源ガ豊富ニナッテ、地方デハ今
マデアッタ財源サヘ無クサレルト云フ
ヤウナコトニナリマス、馬事振興ノ上
ニ取リマシテモ非常ナ脅威ニナルノデ
アリマス、サウ云フ意味カラ私共ハ重
大視シテ居ルノデアリマスカラ、ドウ
カ其御積リデ御答辯ヲ願ヒマス

○中馬委員長 ソレデハ休憩致シマ
ス、午後ハ本會議ノ都合デ、本會議ガ
全部済マズトモ、追加豫算ガ濟ミマシ
タラ、直チニ此處ニ御參集ヲ願ヒマス

午後一時休憩
(休憩ノ儘散會)

昭和六年三月十八日印刷

昭和六年三月十九日發行

衆議院事務局

印刷者 常磐印刷株式會社